

第3期
八峰町国民健康保険
特定健康診査等実施計画



平成30年3月
八峰町

第1章 計画策定にあたって		
1. 計画策定の趣旨		3
2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ		3
3. 計画期間		4
第2章 現状と課題把握		
1. 保険者の特性把握		5
(1) 基本情報		5
(2) 医療費等の状況		7
2. 医療情報分析結果		8
(1) 基礎統計		8
(2) 疾病別医療費		9
3. 生活習慣病に係る医療費		10
第3章 特定健康診査の実施状況		
1. 特定健康診査の受診率		13
2. 特定健康診査結果の分析		16
(1) 有所見者割合		16
(2) 質問別回答状況		19
(3) 特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況		22
3. 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策		23
第4章 特定保健指導の実施状況		
1. 特定保健指導の実施率		24
2. 特定保健指導の効果分析		29
3. 特定保健指導対象者の分析		31
4. 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策		34
第5章 特定健康診査等実施計画		
1. 目標		35
2. 対象者数推計		35
(1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み		35
(2) 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み		36
3. 実施方法		37

	(1) 特定健康診査の実施方法	37
	(2) 特定保健指導の実施方法	39
	(3) 利用する代行機関	41
	(4) 実施スケジュール	41
第6章 その他		
	1. 個人情報の保護	42
	(1) 記録の保存方法等	42
	(2) 管理ルールの制定	42
	2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知	42
	(1) 特定健康診査等実施計画の公表方法	42
	(1) 特定健康診査等を実施する趣旨の普及啓発の方法	42
	3. 特定健康診査等実施計画の評価・見直し	42
	(1) 特定健康診査等実施計画の評価方法	42
	(2) 特定健康診査等実施計画の見直しに関する考え方	42
	4. その他	43
	(1) 各種検(健)診等との連携	43
	(2) 健康づくり事業との連携	43
年度別 特定健康診査結果分析		
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
巻末資料		
	用語解説集	

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

(1) 背景及び趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)に基づき、被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされた。

八峰町国民健康保険においても法第19条に基づき、これまで第1期及び第2期の特定健康診査等実施計画を策定し、特定健康診査及び特定保健指導を実施してきた。第2期計画では2017(平成29年度)が計画の終了年次となるため、目標値や実施方法、体制等の見直しを行い、平成30年度を初年度とする「第3期八峰町国民健康保険特定健康診査等実施計画」を策定する。

(2) 生活習慣病対策の必要性

国民の受療の実態を見ると、高齢期に向けて生活習慣病の外来受療率が徐々に増加し、次に75歳頃を境にして生活習慣病を中心とした入院受療率が上昇している。これを個人に置き換えてみると、不適切な食生活や運動不足等の不健康な生活習慣がやがて糖尿病、高血圧症、脂質異常、肥満症等の発症を招き、外来通院及び投薬が始まり、生活習慣の改善がないままに、虚血性心疾患や脳血管疾患等の発症に至るといった経過をたどることになる。

このため、生活習慣の改善による糖尿病等の生活習慣病の予防対策を進め、糖尿病等を予防することができれば、通院患者を減らすことができ、この結果、国民の生活の質の維持及び向上を図りながら医療費の伸びの抑制を実現することが可能となる。

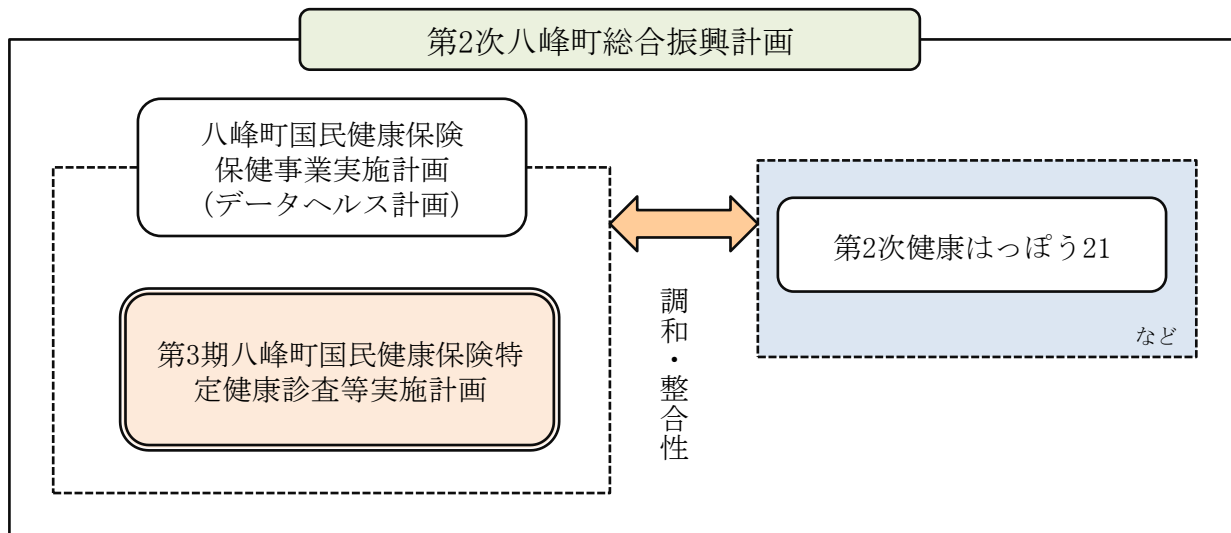
(3) メタボリックシンドロームという概念への着目

糖尿病等の生活習慣病の発症には、内臓脂肪の蓄積(内臓脂肪型肥満)が関与しており、肥満に加え、高血糖、高血圧等の状態が重複した場合には、虚血性心疾患、脳血管疾患等の発症リスクが高くなる。このため、メタボリックシンドロームの概念を踏まえ適度な運動やバランスのとれた食事の定着などの生活習慣の改善を行うことにより、糖尿病等の発症リスクの低減を図ることが可能となる。

特定健康診査は、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とする者を、的確に抽出するために行うものである。

2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

本計画は、法第18条を踏まえるとともに、「第2次八峰町総合振興計画」、「第2次健康はっぼう21」及び「八峰町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」などの諸計画との整合性を図る必要がある。



3. 計画期間

第1期及び第2期は5年を一期としていたが、医療費適正化計画が6年一期に見直されたことを踏まえ、第3期からは6年を一期として策定する。

なお、計画期間は平成30年度から平成35年度とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
→					

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

①人口構成概要（平成28年度）

本町の平成22年度国勢調査人口（日本人）は、8,175人である。高齢化率(65歳以上)は36.0%であり、県との比較で1.2倍、国との比較で1.5倍となっている。

平成28年度国民健康保険被保険者数は2,086人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は25.5%である。国民健康保険被保険者平均年齢は56.8歳である。

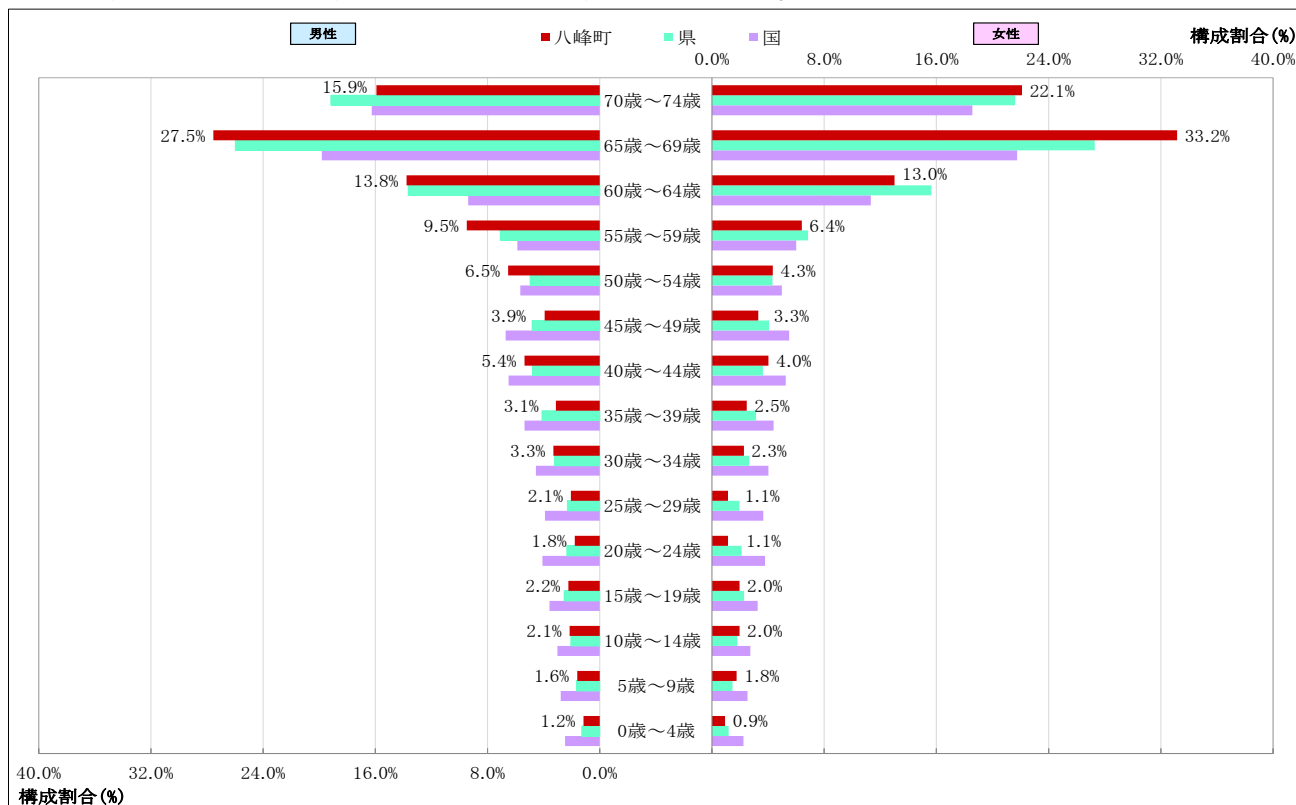
	人口総数(人) (H22国勢調査)	高齢化率 (65歳以上) (H22国勢調査)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率 (H22)	死亡率 (H22)
八峰町	8,175	36.0%	2,086	25.5%	56.8	4.6%	17.9%
県	1,077,076	29.7%	241,732	22.4%	56.1	6.2%	13.3%
同規模	7,349	31.7%	2,075	27.8%	53.1	6.4%	14.4%
国	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は秋田県を指す。また、「同規模」の数値は、人口が5,000人～10,000人の町村の内、KDB登録されている243町村の平均値としている。以下全ての表で同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成22年度国勢調査)

国や県と同様に、人口ピラミッドが逆三角形となっている。特に、65歳から69歳の世代が多く、男性が27.5%、女性が33.2%と突出している。



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

③年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

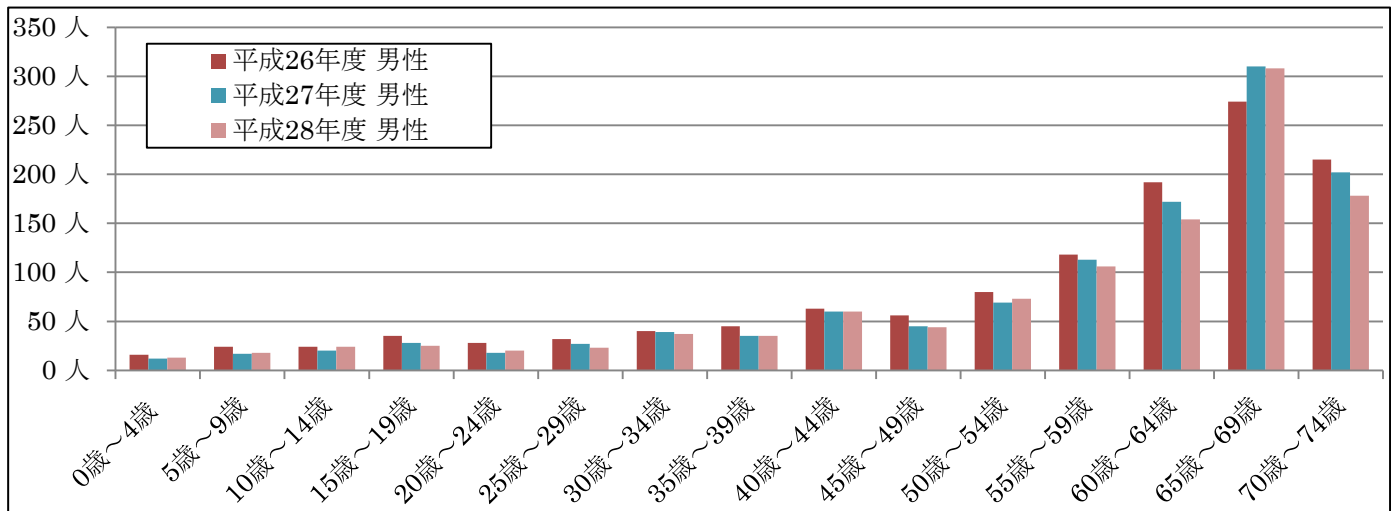
男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示す。

少子高齢化に伴い、被保険者数は年々減少し、被保険者の65歳以上の割合が高くなってきている。特に、65歳～69歳は男女とも年々増加している。

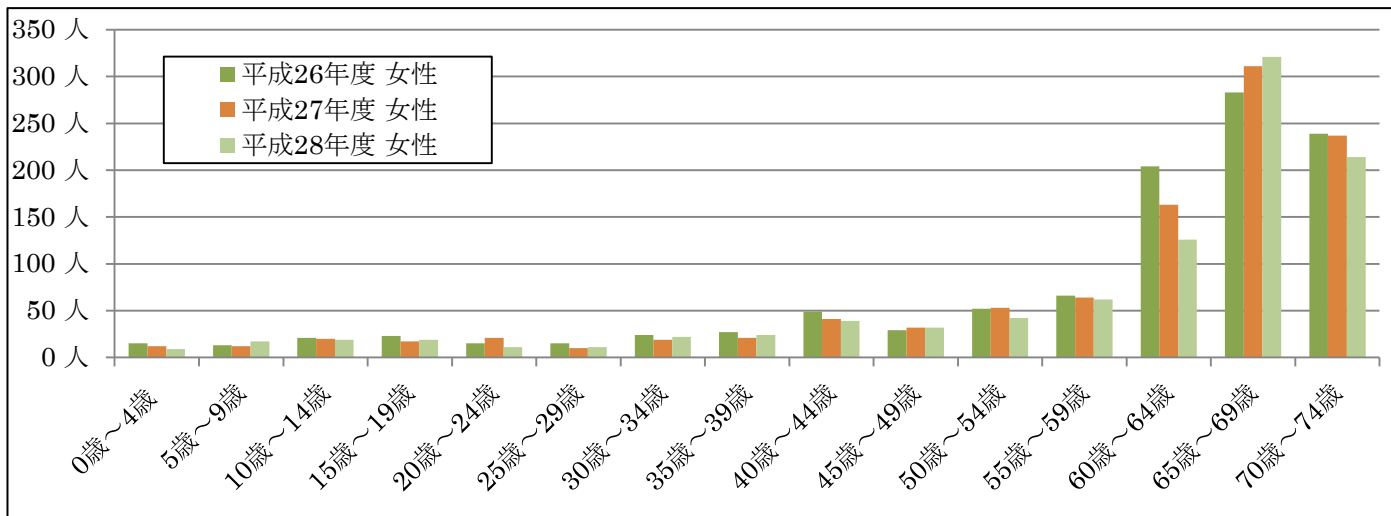
単位：人

年齢階層	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
15歳未満	113	64	49	93	49	44	100	55	45
15歳～64歳	1,193	689	504	1,047	606	441	965	577	388
65歳～74歳	1,011	489	522	1,060	512	548	1,021	486	535
合計	2,317	1,242	1,075	2,200	1,167	1,033	2,086	1,118	968
40歳～74歳 (再掲)	1,920	998	922	1,872	971	901	1,759	923	836

出典：国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」



出典：国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」



出典：国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

医療基礎情報(平成28年度)

県・同規模自治体・国と比較して、人口千人当たりの外来患者数、入院患者数ともに上回っている。外来受診率が高いため、一件当たりの医療費が同等であるが、一人当たり医療費が高くなっている。

医療項目	八峰町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.0	0.3	0.3	0.3
診療所数	2.9	3.4	2.2	3.0
病床数	0.0	63.9	31.3	46.8
医師数	0.0	9.7	3.2	9.2
外来患者数	774.0	721.7	658.5	668.3
入院患者数	23.3	22.2	22.6	18.2
受診率	797.3	743.9	681.1	686.5
一件当たり医療費(円)	35,270	37,360	38,780	35,330
一般(円)	35,700	37,380	38,790	35,270
退職(円)	27,910	36,990	38,510	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	61.2%	58.1%	56.6%	60.1%
外来受診率	774.0	721.7	658.5	668.3
一件当たり医療費(円)	22,240	22,390	22,690	21,820
一人当たり医療費(円)	17,210	16,160	14,940	14,580
一日当たり医療費(円)	15,080	15,380	15,270	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.5	1.6
入院				
入院費用の割合	38.8%	41.9%	43.4%	39.9%
入院率	23.3	22.2	22.6	18.2
一件当たり医療費(円)	468,460	524,540	506,920	531,780
一人当たり医療費(円)	10,910	11,630	11,480	9,670
一日当たり医療費(円)	30,330	29,940	31,030	34,030
一件当たり在院日数	15.4	17.5	16.3	15.6

2. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

八峰町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。

被保険者数は平均2,139人、レセプト件数は平均2,762件、患者数は平均1,197人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均49,449円となった。

基礎統計 (平成28年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
A	被保険者数(人)	2,186	2,161	2,169	2,177	2,165	2,141	2,134	
B	レセプト 件数 (件)	入院外	1,701	1,623	1,705	1,667	1,690	1,666	1,642
		入院	51	46	55	44	53	39	45
		調剤	1,112	1,054	1,135	1,086	1,103	1,103	1,080
		合計	2,864	2,723	2,895	2,797	2,846	2,808	2,767
C	医療費(円) ※	66,221,550	57,767,330	63,940,050	54,015,610	58,158,650	53,351,290	55,026,590	
D	患者数(人) ※	1,240	1,195	1,239	1,224	1,225	1,209	1,203	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	30,293	26,732	29,479	24,812	26,863	24,919	25,786	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,122	21,215	22,086	19,312	20,435	19,000	19,887	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	53,404	48,341	51,606	44,130	47,476	44,128	45,741	
B/A	受診率(%)	131.0%	126.0%	133.5%	128.5%	131.5%	131.2%	129.7%	
D/A	有病率(%)	56.7%	55.3%	57.1%	56.2%	56.6%	56.5%	56.4%	

		11月	12月	1月	2月	3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	2,113	2,120	2,109	2,096	2,097	2,139		
B	レセプト 件数 (件)	入院外	1,634	1,657	1,471	1,507	1,619	1,632	19,582
		入院	52	43	47	52	58	49	585
		調剤	1,094	1,098	982	1,024	1,108	1,082	12,979
		合計	2,780	2,798	2,500	2,583	2,785	2,762	33,146
C	医療費(円) ※	60,446,670	59,800,030	58,566,590	58,649,020	64,444,520	59,198,992	710,387,900	
D	患者数(人) ※	1,183	1,210	1,129	1,132	1,177	1,197	14,366	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	28,607	28,208	27,770	27,981	30,732	27,676		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	21,743	21,372	23,427	22,706	23,140	21,432		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	51,096	49,422	51,875	51,810	54,753	49,449		
B/A	受診率(%)	131.6%	132.0%	118.5%	123.2%	132.8%	129.1%		
D/A	有病率(%)	56.0%	57.1%	53.5%	54.0%	56.1%	56.0%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 疾病別医療費

中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

医療費、患者数ともに、上位5位に生活習慣病である「高血圧性疾患」、「糖尿病」、「脂質異常症」が占めている。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)(平成28年度)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0901:高血圧性疾患	48,514,196	6.8%	886
2	0402:糖尿病	40,811,465	5.8%	529
3	0210:その他の悪性新生物<腫瘍>	37,892,851	5.3%	312
4	1113:その他の消化器系の疾患	34,041,475	4.8%	681
5	0403:脂質異常症	26,228,740	3.7%	609
6	1402:腎不全	24,673,965	3.5%	35
7	0606:その他の神経系の疾患	24,584,244	3.5%	508
8	0903:その他の心疾患	24,186,242	3.4%	351
9	0503:統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	23,723,403	3.3%	79
10	0205:気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	18,591,225	2.6%	94

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)(平成28年度)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901:高血圧性疾患	48,514,196	886	46.0%
2	1113:その他の消化器系の疾患	34,041,475	681	35.4%
3	0403:脂質異常症	26,228,740	609	31.6%
4	1105:胃炎及び十二指腸炎	10,364,248	557	28.9%
5	0402:糖尿病	40,811,465	529	27.5%
6	0606:その他の神経系の疾患	24,584,244	508	26.4%
7	1800:症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,751,251	502	26.1%
8	0703:屈折及び調節の障害	1,861,995	466	24.2%
9	0704:その他の眼及び付属器の疾患	9,651,328	438	22.7%
10	1202:皮膚炎及び湿疹	6,739,995	428	22.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

3. 生活習慣病に係る医療費

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。

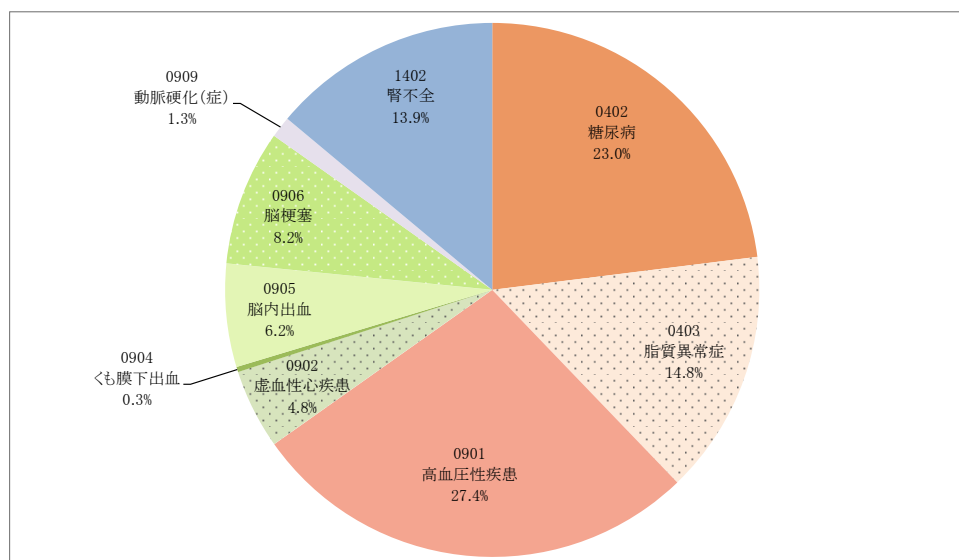
糖尿病医療費は4,081万円、脂質異常症医療費は2,623万円、高血圧性疾患医療費は4,851万円となっている。

生活習慣病の中でも高血圧性疾患の割合が4分の1以上を占め、生活習慣病の半分以上が高血圧性疾患と糖尿病で占めている。

生活習慣病医療費（平成28年度）

疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
0402 糖尿病	40,811,465	529	77,148
0403 脂質異常症	26,228,740	609	43,069
0901 高血圧性疾患	48,514,196	886	54,756
0902 虚血性心疾患	8,564,740	224	38,235
0904 くも膜下出血	557,884	3	185,961
0905 脳内出血	11,061,821	29	381,442
0906 脳梗塞	14,548,914	170	85,582
0907 脳動脈硬化(症)	0	0	0
0909 動脈硬化(症)	2,288,332	75	30,511
1402 腎不全	24,673,965	35	704,970

生活習慣病医療費構成（平成28年度）



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

また、平成27年度から平成28年度における、生活習慣病医療費を年度別に示す。

医療費で平成28年度を平成27年度と比較すると、糖尿病医療費4,081万円は、平成27年度4,697万円より616万円減少している。また、脂質異常症医療費2,623万円は、平成27年度2,724万円より101万円減少しており、高血圧性疾患医療費4,851万円は、平成27年度5,599万円より748万円減少している。

一方、構成比で見ると、糖尿病は1.1%、脂質異常症は2.1%、高血圧性疾患は1.3%といずれも増加している。

年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		平成27年度		平成28年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	46,967,834	21.9%	40,811,465	23.0%
0403	脂質異常症	27,242,074	12.7%	26,228,740	14.8%
0901	高血圧性疾患	55,991,009	26.1%	48,514,196	27.4%
0902	虚血性心疾患	20,309,383	9.5%	8,564,740	4.8%
0904	くも膜下出血	5,268,526	2.5%	557,884	0.3%
0905	脳内出血	7,374,254	3.4%	11,061,821	6.2%
0906	脳梗塞	13,402,389	6.2%	14,548,914	8.2%
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%	0	0.0%
0909	動脈硬化(症)	2,968,231	1.4%	2,288,332	1.3%
1402	腎不全	35,350,351	16.5%	24,673,965	13.9%
合計		214,874,051		177,250,057	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成27年4月～平成29年3月診療分(24カ月分)。

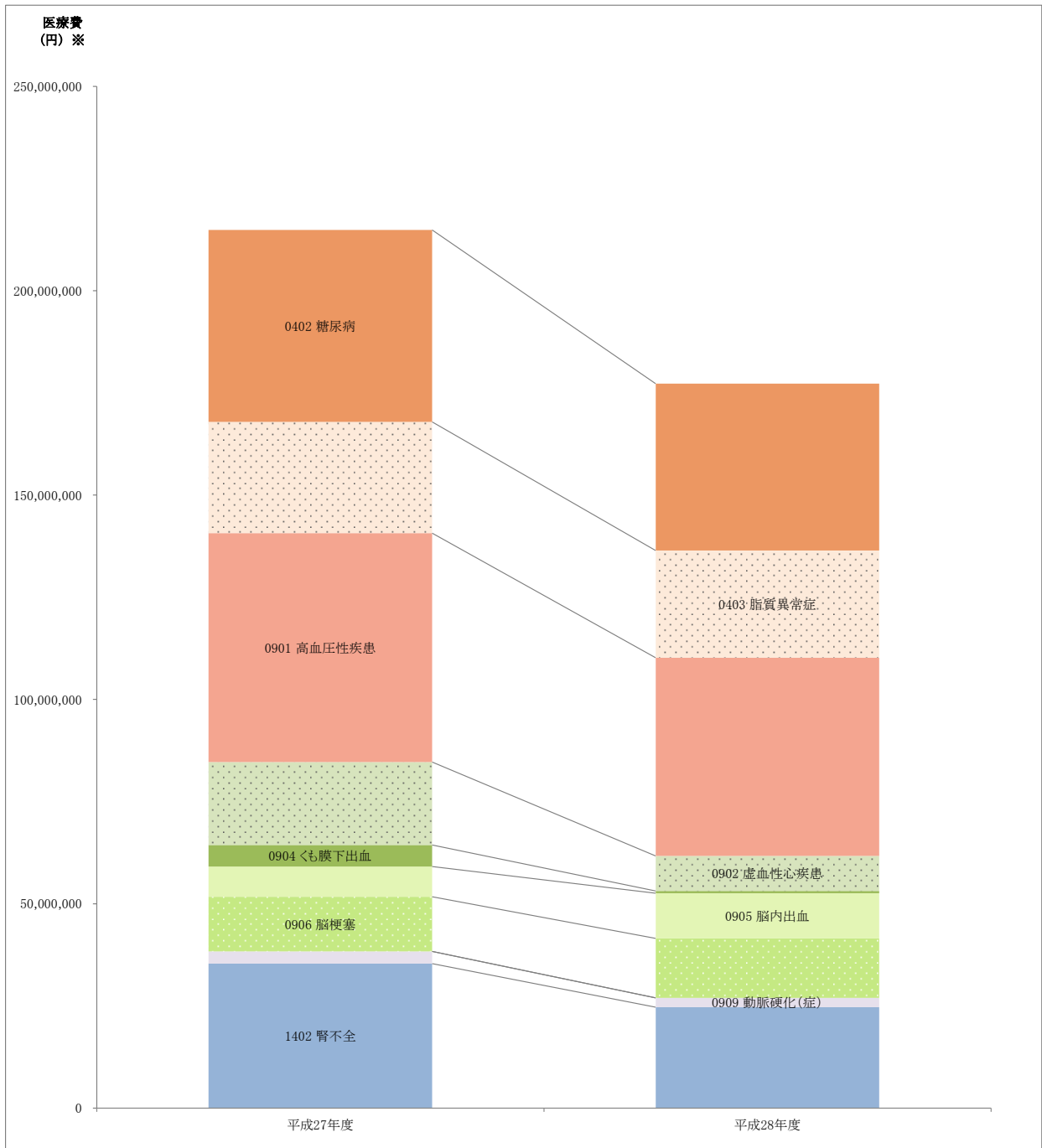
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成27年4月～平成29年3月診療分(24カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

第3章 特定健康診査の実施状況

1. 特定健康診査の受診率

平成20年度から平成29年度における、特定健康診査の受診状況等は以下の通りである。

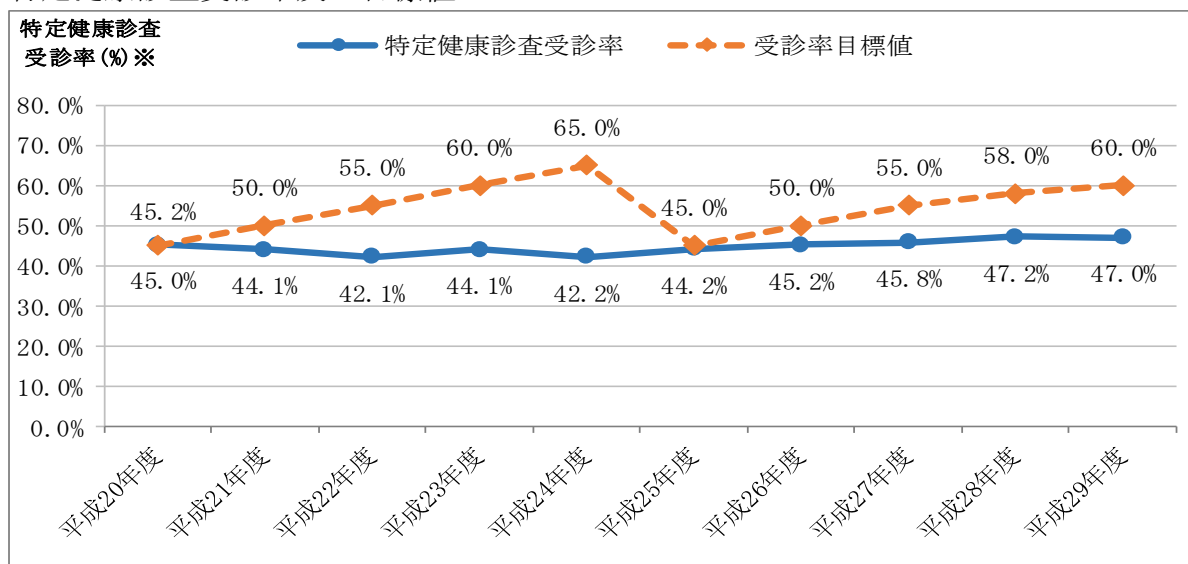
特定健康診査受診率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定健康診査対象者数 (人)	1,959	1,947	1,865	1,815	1,806
特定健康診査受診者数 (人)	885	858	786	801	763
特定健康診査受診率(%)※	45.2%	44.1%	42.1%	44.1%	42.2%
受診率目標値(%)	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	65.0%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定健康診査対象者数 (人)	1,800	1,763	1,706	1,615	1,578
特定健康診査受診者数 (人)	796	797	781	762	742
特定健康診査受診率(%)※	44.2%	45.2%	45.8%	47.2%	47.0%
受診率目標値(%)	45.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。

※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。

※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

次に、国保データベース(KDB)システムより集計した、平成28年度の特定健康診査受診率の結果を示す。

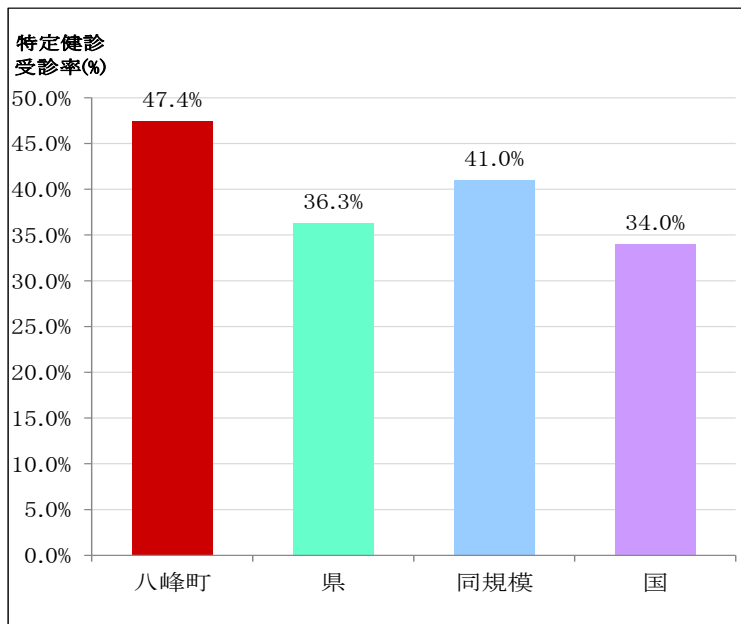
平成28年度の受診率は47.4%で県、同規模自治体及び国の数値と比較すると大きく上回っている。

男女別・年齢階層別でみると、男女とも年代が高いほど受診率が高い傾向にある。

特定健康診査受診率(平成28年度)

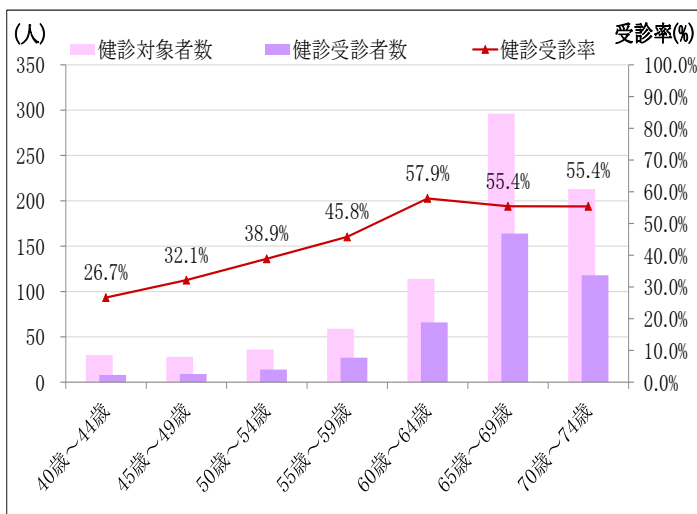
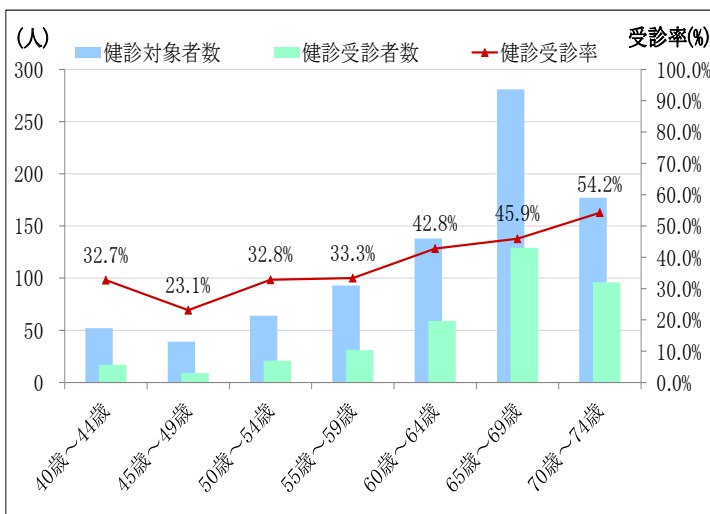
	特定健診受診率
八峰町	47.4%
県	36.3%
同規模	41.0%
国	34.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



(男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)

(女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

本町の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。

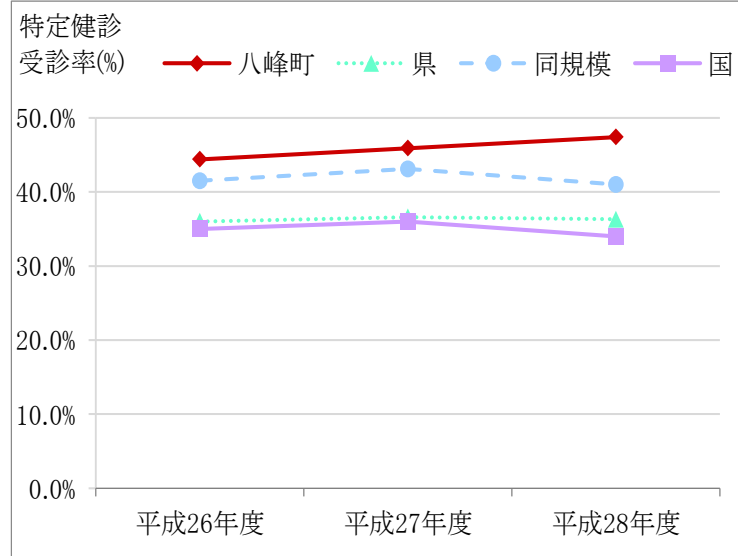
平成28年度の特定健康診査受診率47.4%は平成26年度44.4%より3.0ポイント上昇している。

また、県、同規模自治体及び国の数値と比較するといずれも大きく上回っている。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
八峰町	44.4%	45.9%	47.4%
県	36.0%	36.6%	36.3%
同規模	41.5%	43.1%	41.0%
国	35.0%	36.0%	34.0%

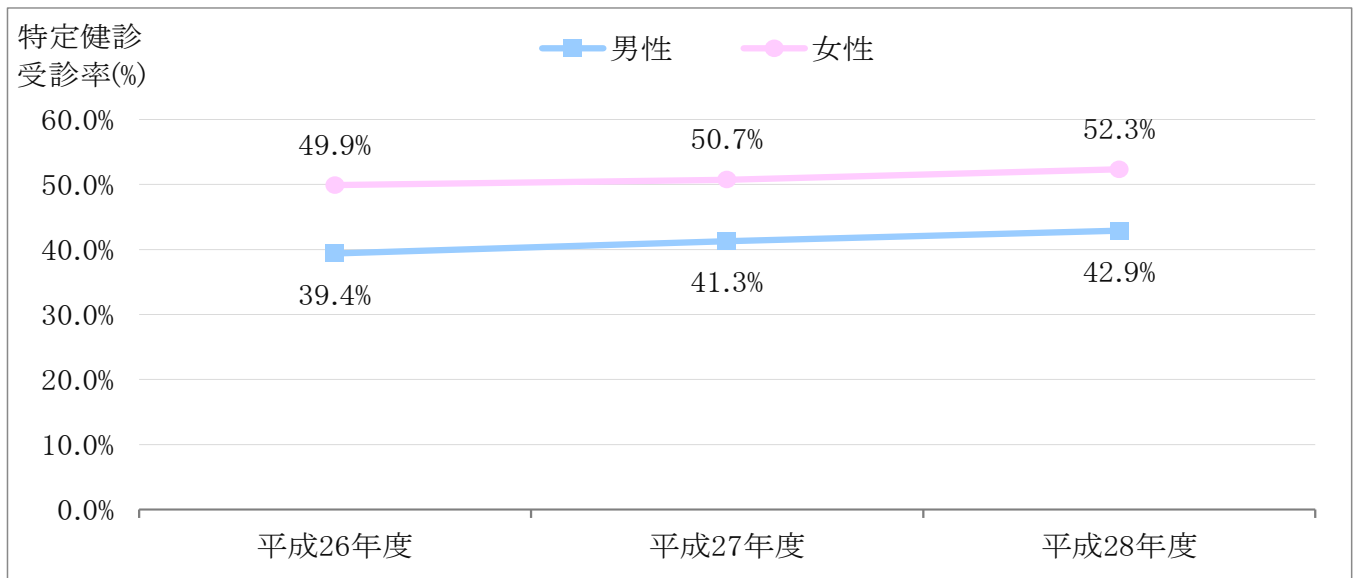
出典：国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」



男女別の特定健康診査の受診率をみると、男女とも全体的に年々上昇している。

男性の平成28年度受診率42.9%は平成26年度39.4%より3.5ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率52.3%は平成26年度49.9%より2.4ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典：国保データベース (KDB) システム 「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

2. 特定健康診査結果の分析

(1) 有所見者割合

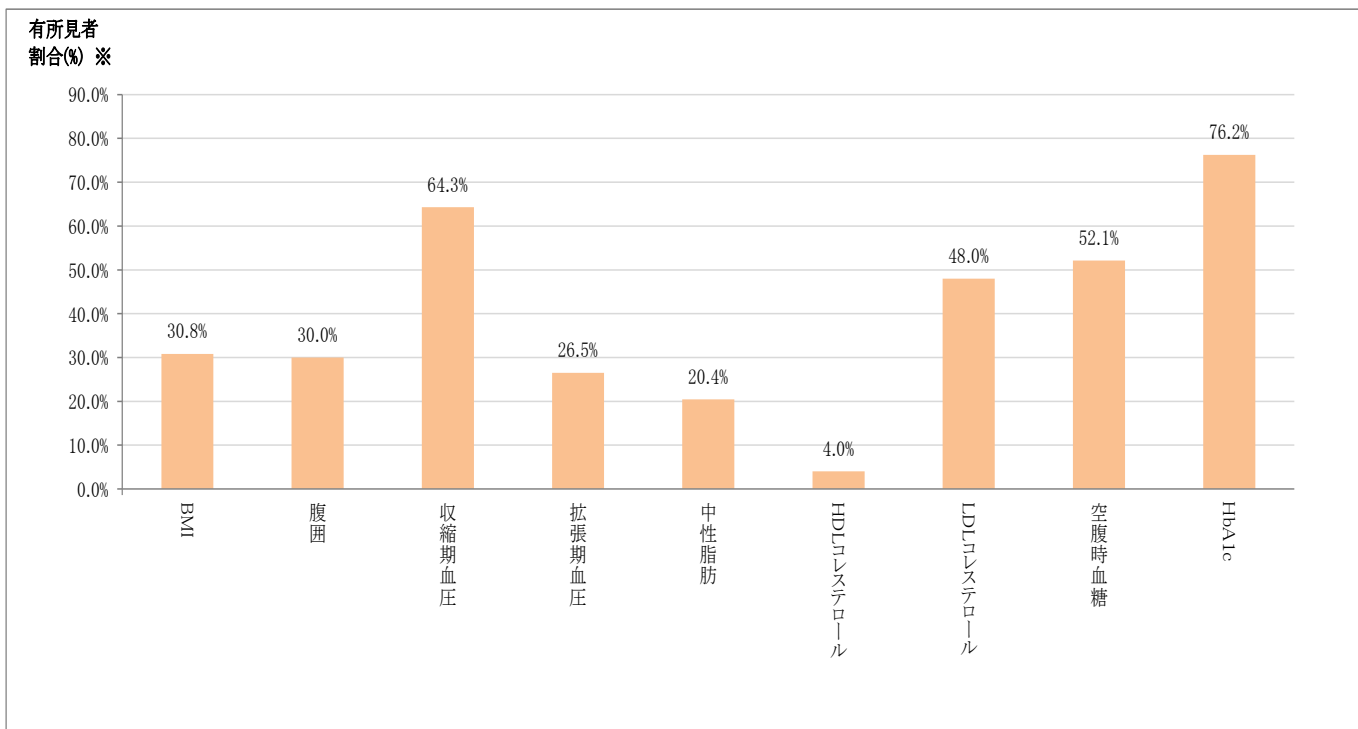
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下の通りである。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	773	773	773	773
有所見者数(人) ※	238	232	497	205
有所見者割合(%) ※	30.8%	30.0%	64.3%	26.5%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	773	773	773	639	724
有所見者数(人) ※	158	31	371	333	552
有所見者割合(%) ※	20.4%	4.0%	48.0%	52.1%	76.2%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
BMI	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	239	224	238
	有所見者割合(%) ※	31.0%	29.0%	30.8%
腹囲	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	219	228	232
	有所見者割合(%) ※	28.4%	29.5%	30.0%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	472	513	497
	有所見者割合(%) ※	61.2%	66.4%	64.3%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	270	263	205
	有所見者割合(%) ※	35.0%	34.0%	26.5%
中性脂肪	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	167	171	158
	有所見者割合(%) ※	21.7%	22.1%	20.4%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	23	35	31
	有所見者割合(%) ※	3.0%	4.5%	4.0%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	413	401	371
	有所見者割合(%) ※	53.6%	51.9%	48.0%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	628	645	639
	有所見者数(人) ※	361	328	333
	有所見者割合(%) ※	57.5%	50.9%	52.1%
HbA1c	対象者数(人) ※	725	724	724
	有所見者数(人) ※	477	471	552
	有所見者割合(%) ※	65.8%	65.1%	76.2%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

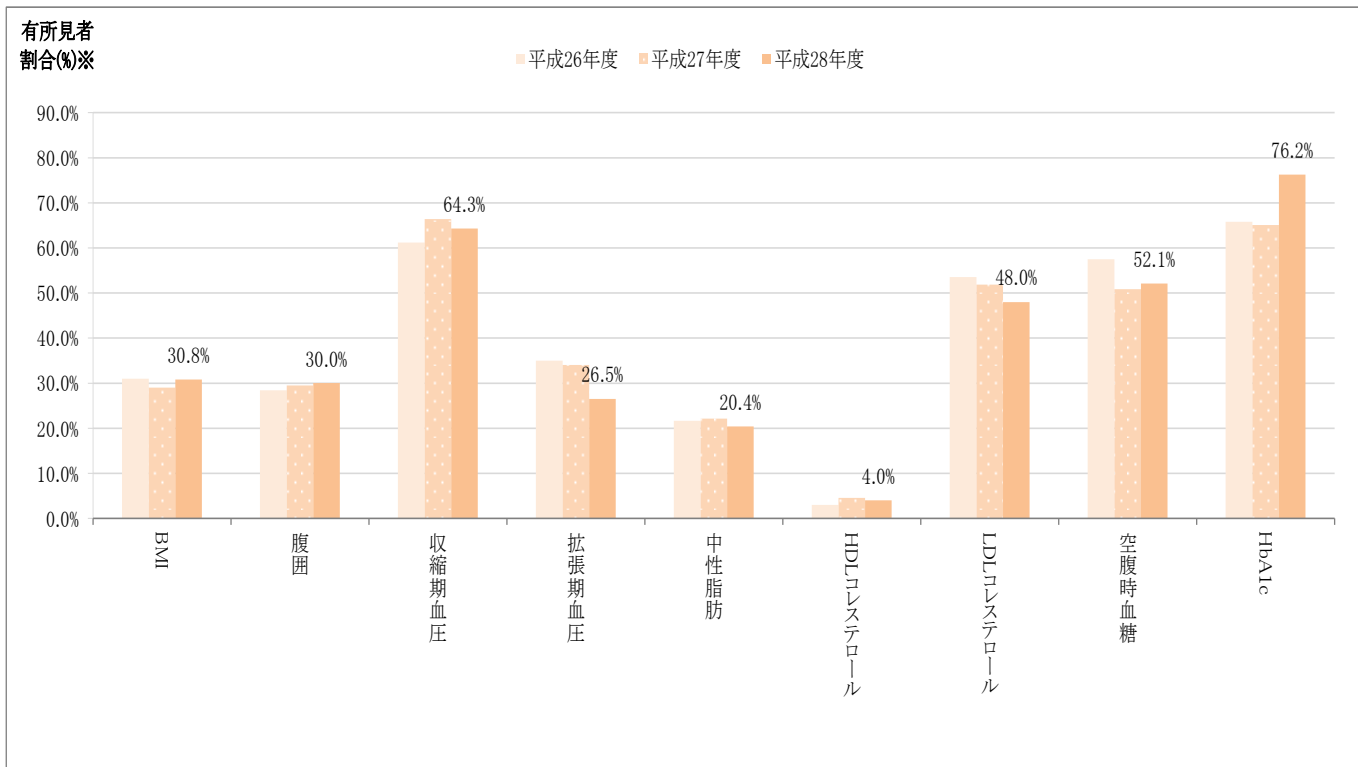
保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

(2) 質問別回答状況

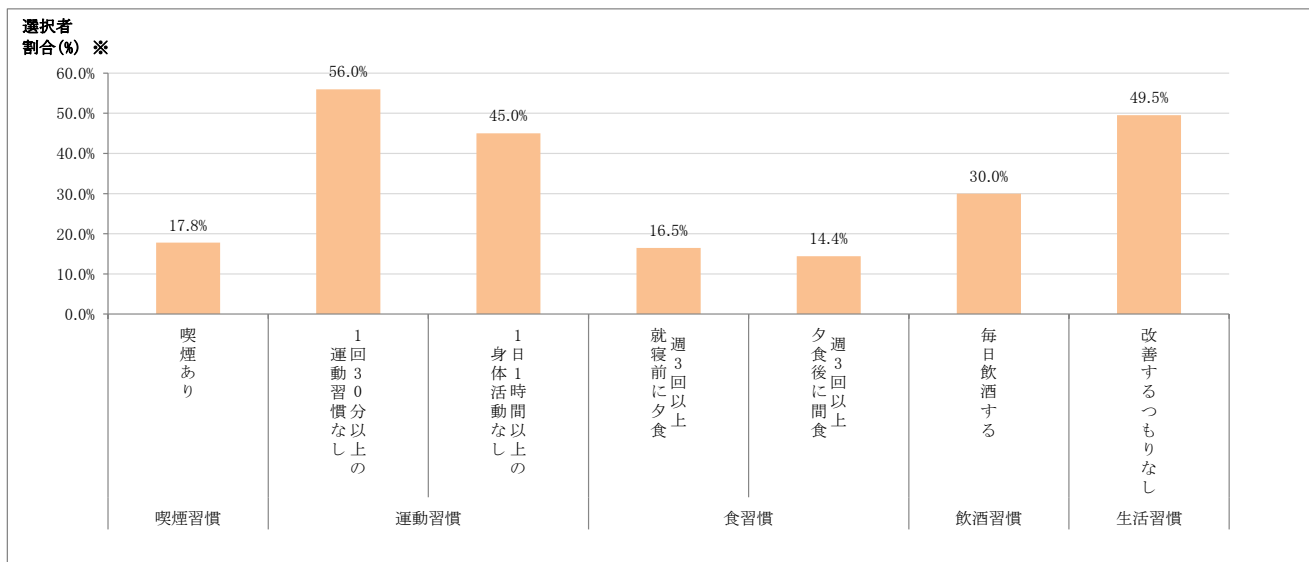
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況は以下の通りである。

質問別 回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	770	770	769
選択者数(人) ※	137	431	346
選択者割合(%) ※	17.8%	56.0%	45.0%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	770	770	770	769
選択者数(人) ※	127	111	231	381
選択者割合(%) ※	16.5%	14.4%	30.0%	49.5%

質問別 選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒する

…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況を年度別に示す。

年度・質問別 回答状況

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
喫煙習慣	喫煙あり	質問回答者数(人) ※	771	773	770
		選択者数(人) ※	122	125	137
		選択者割合(%) ※	15.8%	16.2%	17.8%
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	質問回答者数(人) ※	769	773	770
		選択者数(人) ※	482	445	431
		選択者割合(%) ※	62.7%	57.6%	56.0%
	1日1時間以上の身体活動なし	質問回答者数(人) ※	769	773	769
		選択者数(人) ※	396	366	346
		選択者割合(%) ※	51.5%	47.3%	45.0%
食習慣	週3回以上就寝前に夕食	質問回答者数(人) ※	769	773	770
		選択者数(人) ※	141	133	127
		選択者割合(%) ※	18.3%	17.2%	16.5%
	週3回以上夕食後に間食	質問回答者数(人) ※	768	773	770
		選択者数(人) ※	90	104	111
		選択者割合(%) ※	11.7%	13.5%	14.4%
飲酒習慣	毎日飲酒する	質問回答者数(人) ※	769	773	770
		選択者数(人) ※	200	215	231
		選択者割合(%) ※	26.0%	27.8%	30.0%
生活習慣	改善するつもりなし	質問回答者数(人) ※	766	769	769
		選択者数(人) ※	354	353	381
		選択者割合(%) ※	46.2%	45.9%	49.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

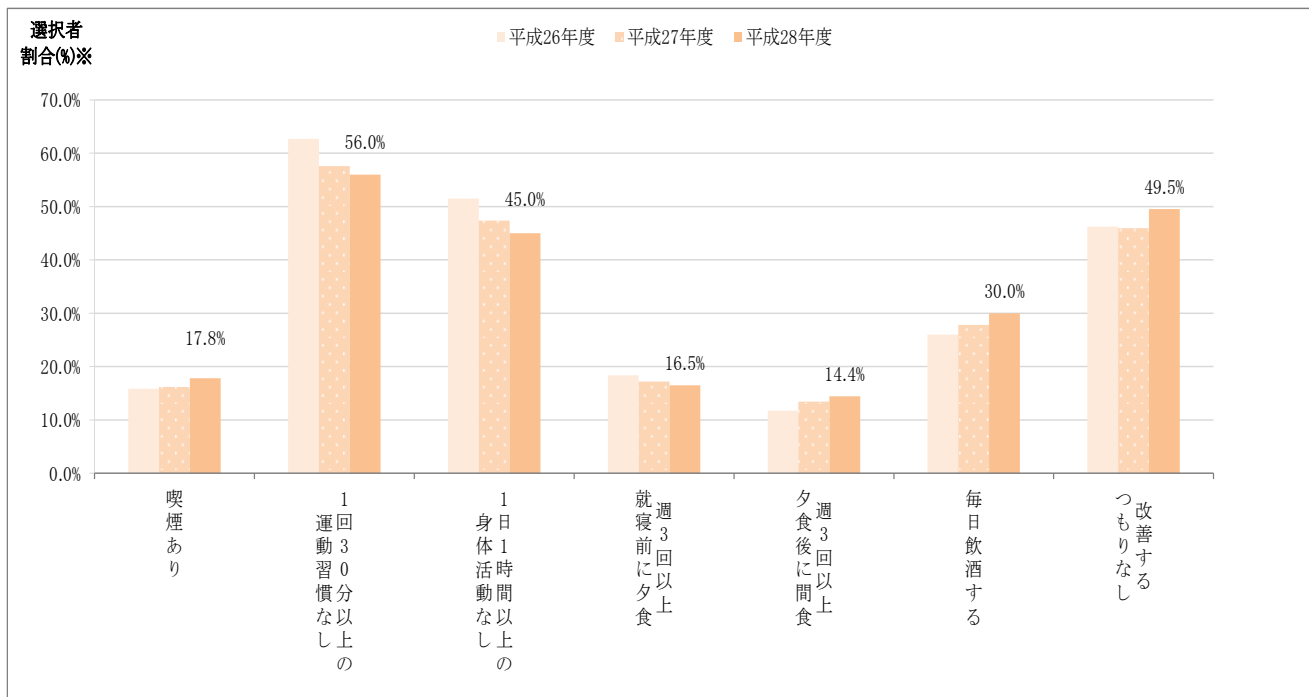
毎日飲酒する

…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

年度・質問別 選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒する

…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。

特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の60.3%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の45.6%である。

特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況（平成28年度）

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	773	44.2%	407,596	48,376,146	48,783,742
健診未受診者	974	55.8%	3,337,334	53,034,459	56,371,793
合計	1,747		3,744,930	101,410,605	105,155,535

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	10	1.3%	466	60.3%	466	60.3%	40,760	103,811	104,686
健診未受診者	56	5.7%	443	45.5%	444	45.6%	59,595	119,717	126,963
合計	66	3.8%	909	52.0%	910	52.1%	56,741	111,563	115,556

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

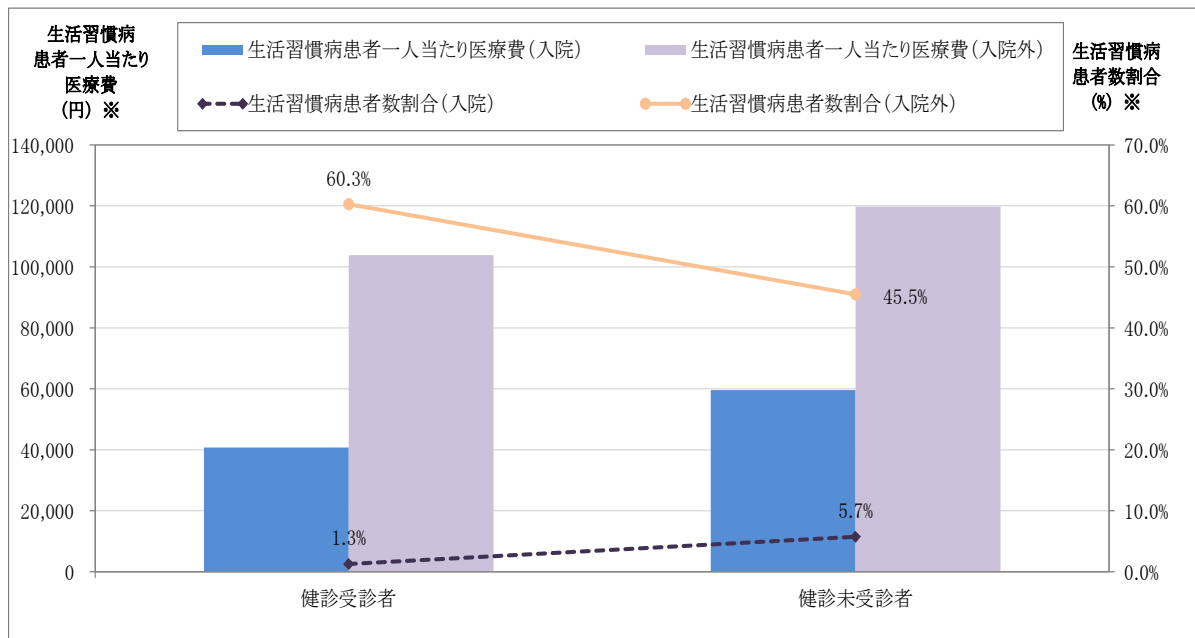
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区別なく集計した実人数。

特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況（平成28年度）



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

3. 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下の通りである。

◆特定健康診査受診率

平成28年度特定健康診査受診率47.4%は、県、同規模自治体及び国の数値と比較すると大きく上回っているものの、国の平成29年度到達目標値60%に未到達である。

受診率向上を目指し、受診勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※KDBより算出

◆有所見者の状況

HbA1c、収縮期血圧、空腹時血糖の有所見者割合が高い。

特定健康診査の結果を活用することで被保険者に生活習慣を見直すきっかけを提供し、生活習慣病を予防する。

※健康診査データより算出

◆質問票の回答状況

喫煙習慣では「喫煙あり」17.8%、飲酒習慣では「毎日飲酒する」30.0%、生活習慣では「改善するつもりなし」49.5%である。

広報による啓発や健康教室を開催し、生活習慣改善を促す取り組みが必要である。

※健康診査データより算出

第4章 特定保健指導の実施状況

1. 特定保健指導の実施率

平成20年度から平成29年度における、特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

特定保健指導実施率及び目標値

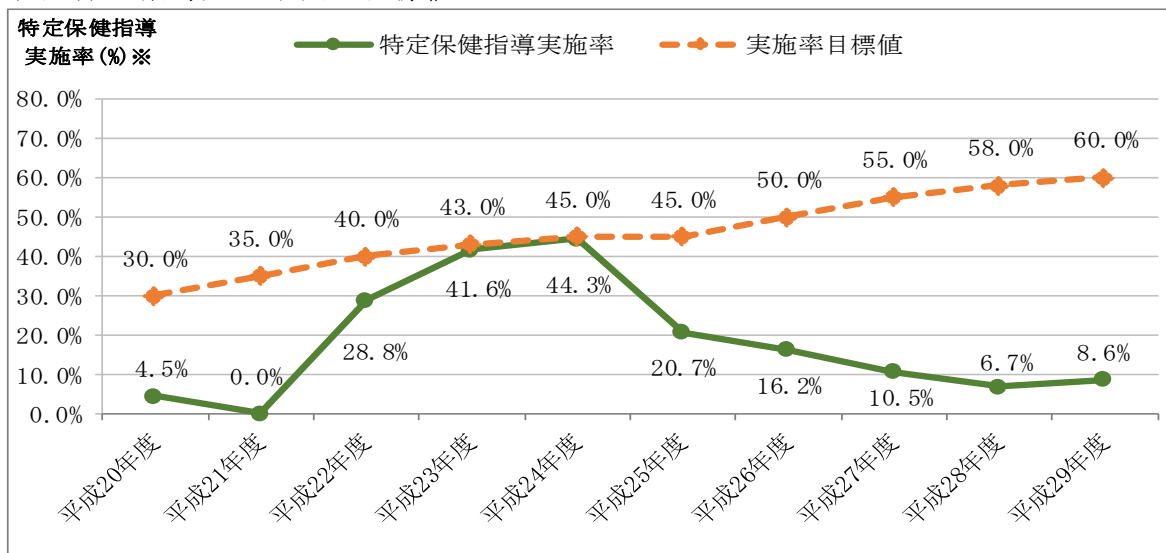
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定保健指導対象者数(人)	156	134	111	113	115
特定保健指導利用者数(人)	8	0	40	41	56
特定保健指導実施者数(人)※	7	0	32	47	51
特定保健指導実施率(%)※	4.5%	0.0%	28.8%	41.6%	44.3%
実施率目標値(%)	30.0%	35.0%	40.0%	43.0%	45.0%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定保健指導対象者数(人)	116	105	95	89	93
特定保健指導利用者数(人)	30	21	8	4	6
特定保健指導実施者数(人)※	24	17	10	6	8
特定保健指導実施率(%)※	20.7%	16.2%	10.5%	6.7%	8.6%
実施率目標値(%)	45.0%	50.0%	55.0%	58.0%	60.0%

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

支援レベル別の特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

積極的支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
積極的支援対象者数(人)	50	54	43	40	34
積極的支援利用者数(人)	2	0	13	14	17
積極的支援実施者数(人)※	1	0	10	17	14
積極的支援実施率(%)※	2.0%	0.0%	23.3%	42.5%	41.2%

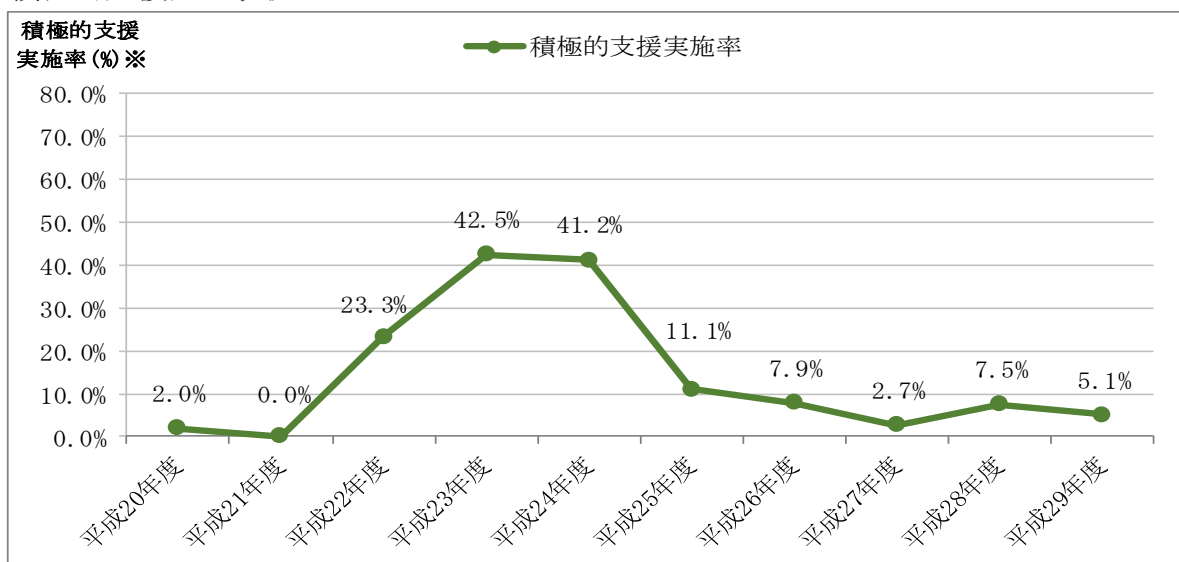
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
積極的支援対象者数(人)	45	38	37	40	39
積極的支援利用者数(人)	7	7	1	3	2
積極的支援実施者数(人)※	5	3	1	3	2
積極的支援実施率(%)※	11.1%	7.9%	2.7%	7.5%	5.1%

積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

積極的支援実施状況



積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
動機付け支援対象者数(人)	106	80	68	73	81
動機付け支援利用者数(人)	6	0	27	27	39
動機付け支援実施者数(人)※	6	0	22	30	37
動機付け支援実施率(%)※	5.7%	0.0%	32.4%	41.1%	45.7%

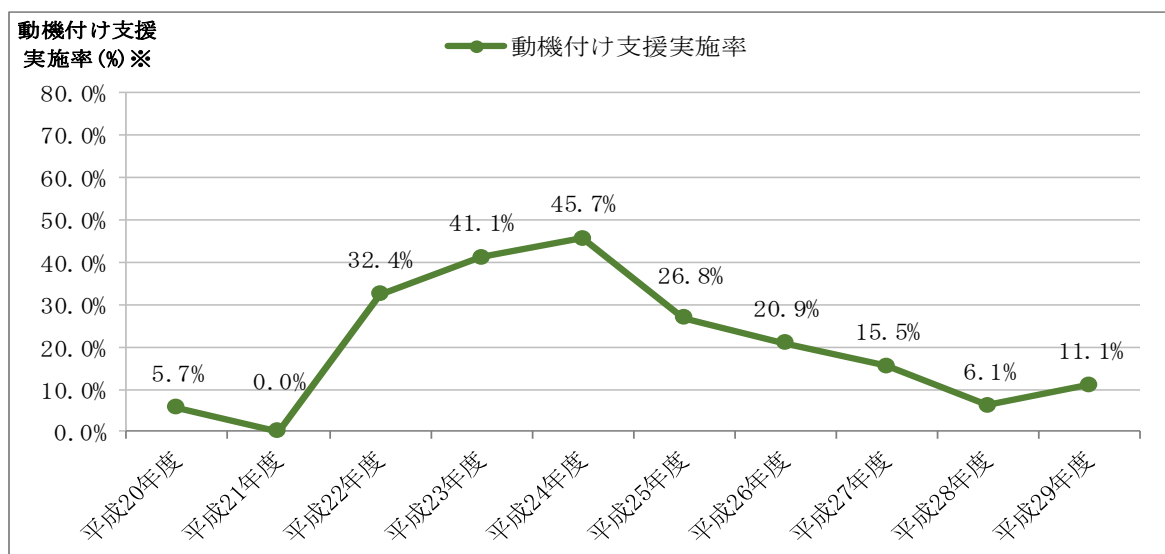
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
動機付け支援対象者数(人)	71	67	58	49	54
動機付け支援利用者数(人)	23	14	7	1	4
動機付け支援実施者数(人)※	19	14	9	3	6
動機付け支援実施率(%)※	26.8%	20.9%	15.5%	6.1%	11.1%

動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

次に、国保データベース(KDB)システムより集計した結果を示す。

平成28年度における、特定保健指導の実施状況は以下の通りである。

支援対象者数割合は、動機付け支援については県、同規模自治体及びくにより低い割合だが、積極的支援については高い割合となっている。

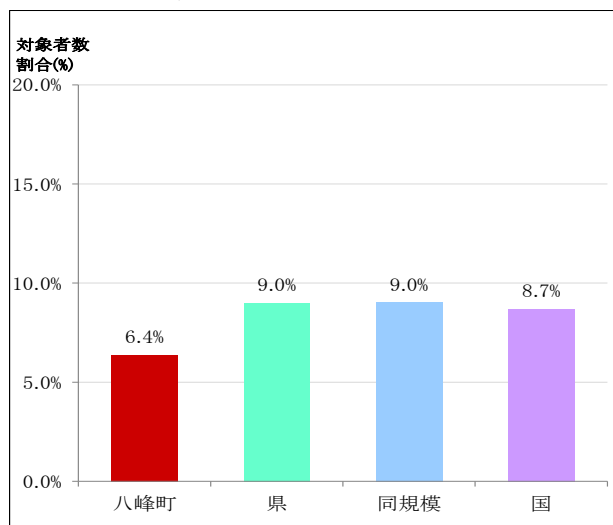
特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
八峰町	6.4%	5.2%	11.6%	2.2%
県	9.0%	3.3%	12.3%	8.1%
同規模	9.0%	3.8%	12.8%	8.1%
国	8.7%	3.2%	11.9%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

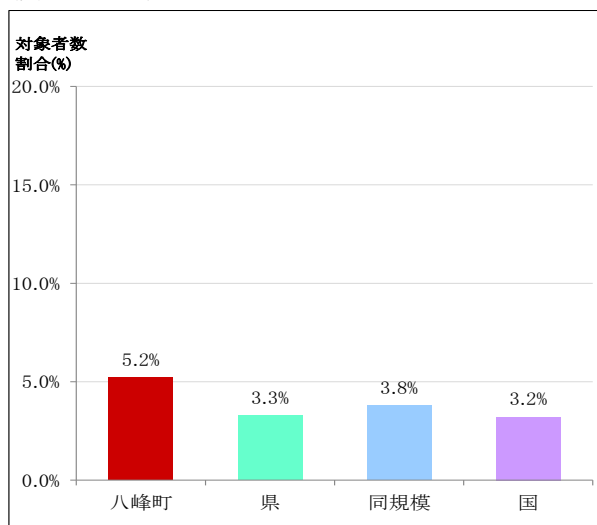
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



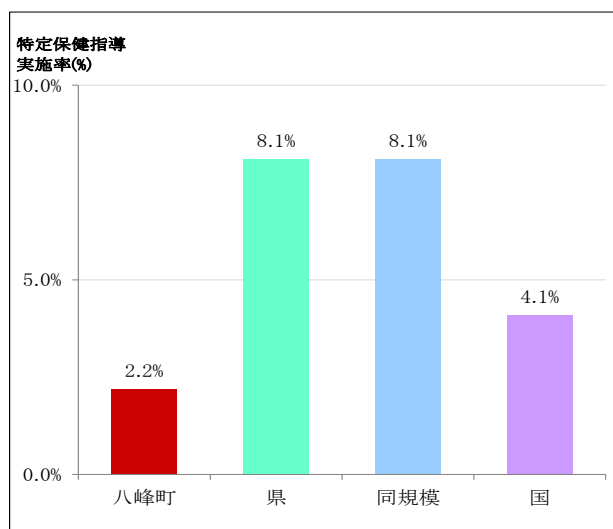
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率2.2%は平成26年度20.0%より17.8ポイント低下している。

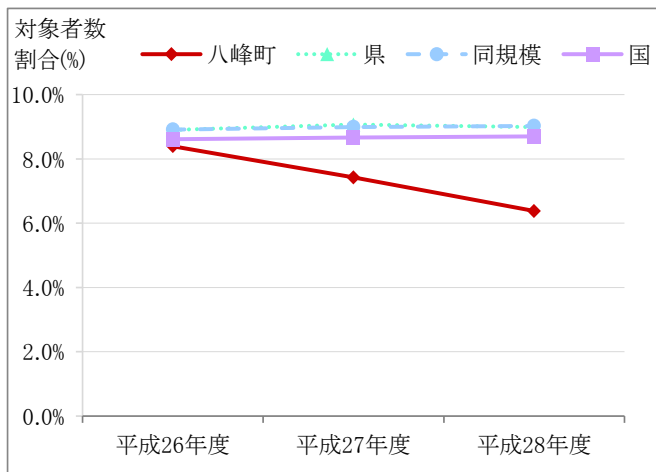
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
八峰町	8.4%	7.4%	6.4%	4.8%	4.7%	5.2%	13.2%	12.2%	11.6%	20.0%	8.4%	2.2%
県	8.9%	9.1%	9.0%	3.5%	3.4%	3.3%	12.4%	12.5%	12.3%	17.9%	17.4%	8.1%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	4.1%	3.9%	3.8%	13.0%	12.9%	12.8%	38.8%	39.3%	8.1%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.2%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

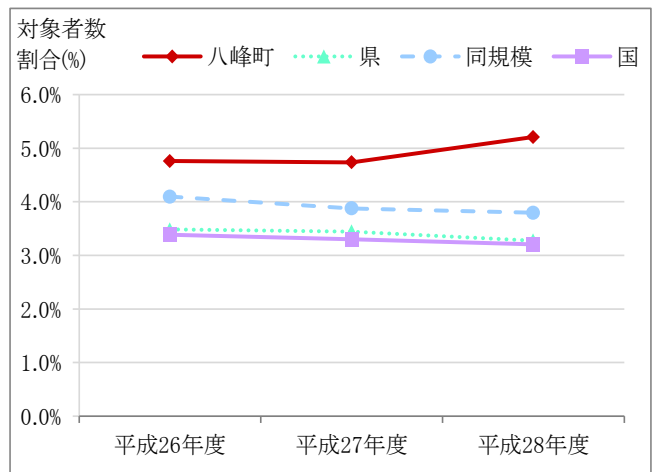
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



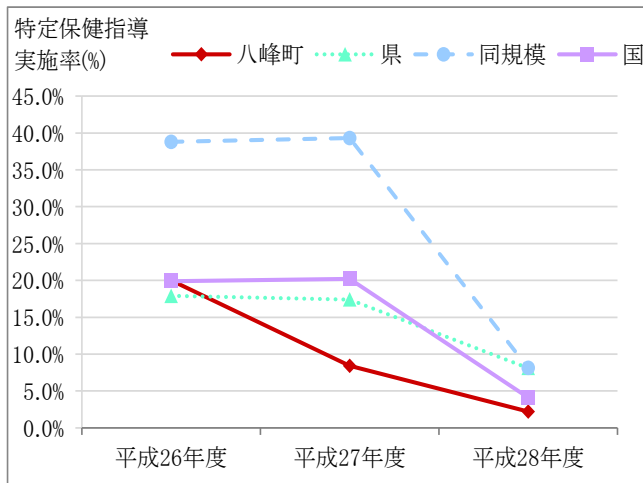
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 特定保健指導の効果分析

特定保健指導の効果について、平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況より分析する。

基準該当151人、予備群該当68人である。

メタボリックシンドローム該当状況（平成28年度）

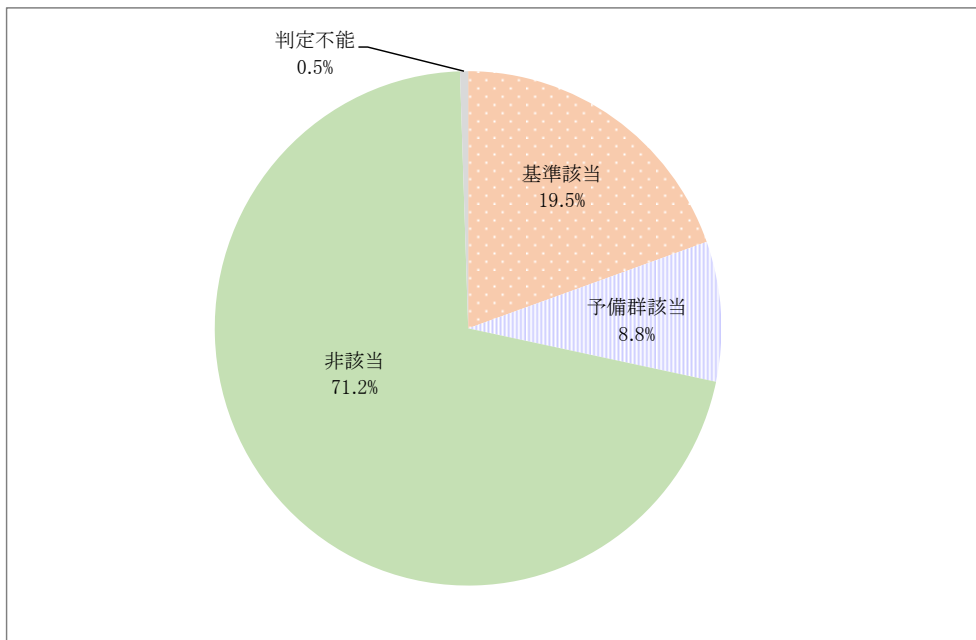
	特定健康診査 受診者(人)	該当レベル			
		基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	773	151	68	550	4
割合※(%)	-	19.5%	8.8%	71.2%	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当割合（平成28年度）



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク（①血糖 ②脂質 ③血圧）	該当状況
≧85cm（男性）	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≧90cm（女性）	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示す。

平成28年度基準該当19.5%は平成26年度17.6%より上昇しており、平成28年度予備群該当8.8%は平成26年度9.2%より低下している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)
平成26年度	771
平成27年度	773
平成28年度	773

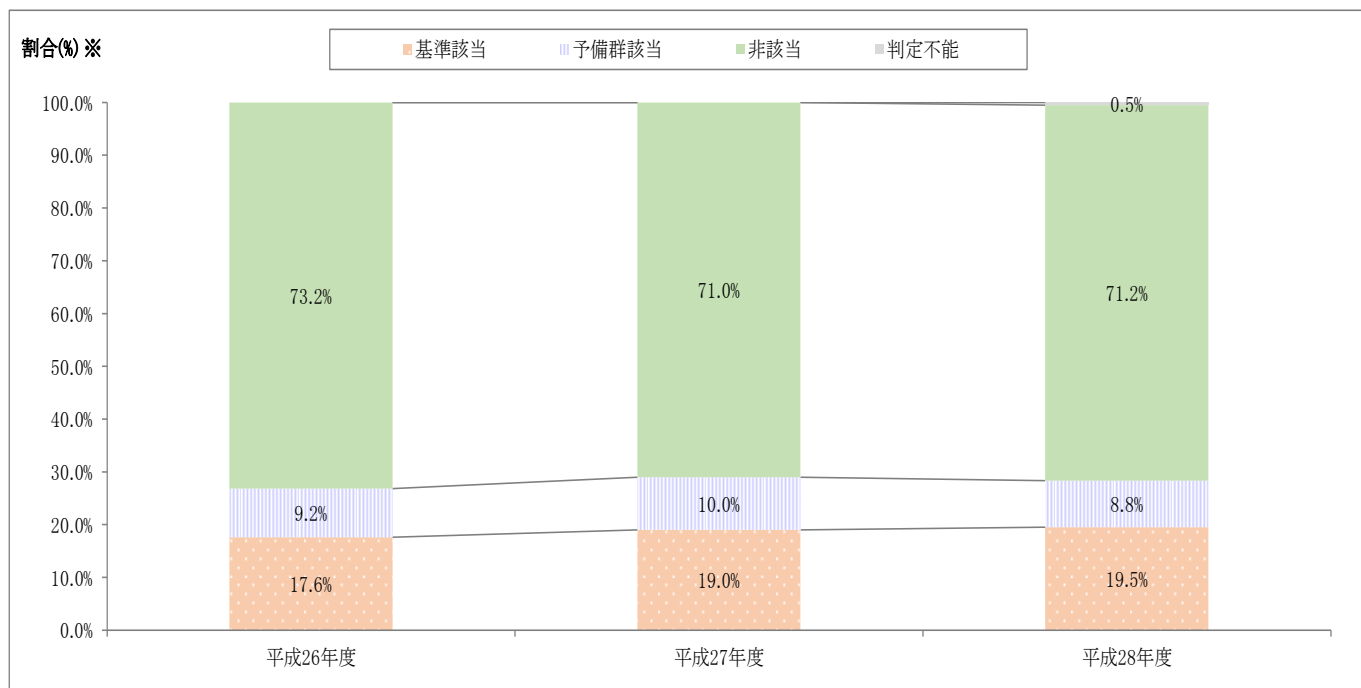
年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	136	17.6%	71	9.2%	564	73.2%	0	0.0%
平成27年度	147	19.0%	77	10.0%	549	71.0%	0	0.0%
平成28年度	151	19.5%	68	8.8%	550	71.2%	4	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

3. 特定保健指導対象者の分析

保健指導レベル該当状況

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、保健指導レベル該当状況は以下の通りである。

積極的支援対象者は39人、動機付け支援対象者は52人である。

保健指導レベル該当状況（平成28年度）

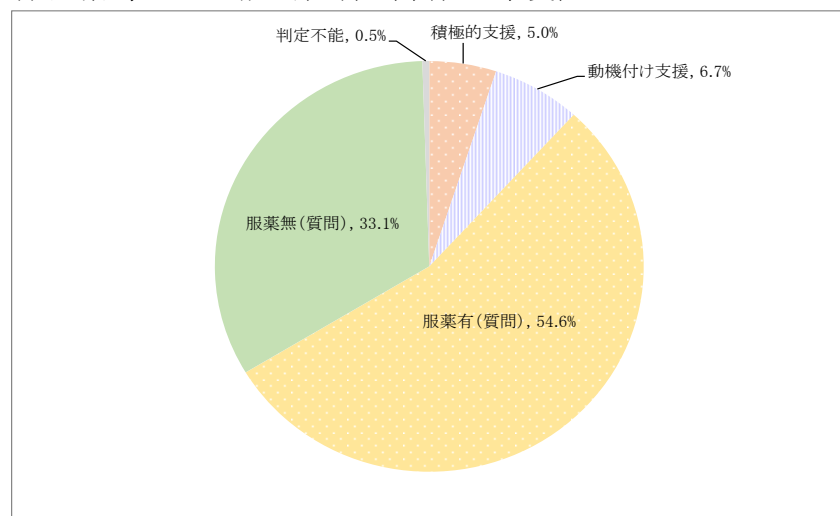
	健診受診者数 (人)	該当レベル					判定不能
		特定保健指導対象者(人)		情報提供			
		積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)		
該当者数(人)	773	91	39	52	422	256	4
割合※(%)	-	11.8%	5.0%	6.7%	54.6%	33.1%	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

保健指導レベル該当割合（平成28年度）



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹圍/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当			
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当			
	1つ該当			

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

また、年齢階層別保健指導レベル該当状況は以下の通りである。

年齢階層別 保健指導レベル該当状況（平成28年度）

年齢階層	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		積極的支援		動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
40歳～44歳	26	9	7	26.9%	2	7.7%
45歳～49歳	18	5	1	5.6%	4	22.2%
50歳～54歳	35	10	10	28.6%	0	0.0%
55歳～59歳	59	15	10	16.9%	5	8.5%
60歳～64歳	127	15	11	8.7%	4	3.1%
65歳～69歳	294	22	0	0.0%	22	7.5%
70歳～	214	15	0	0.0%	15	7.0%
合計	773	91	39	5.0%	52	6.7%

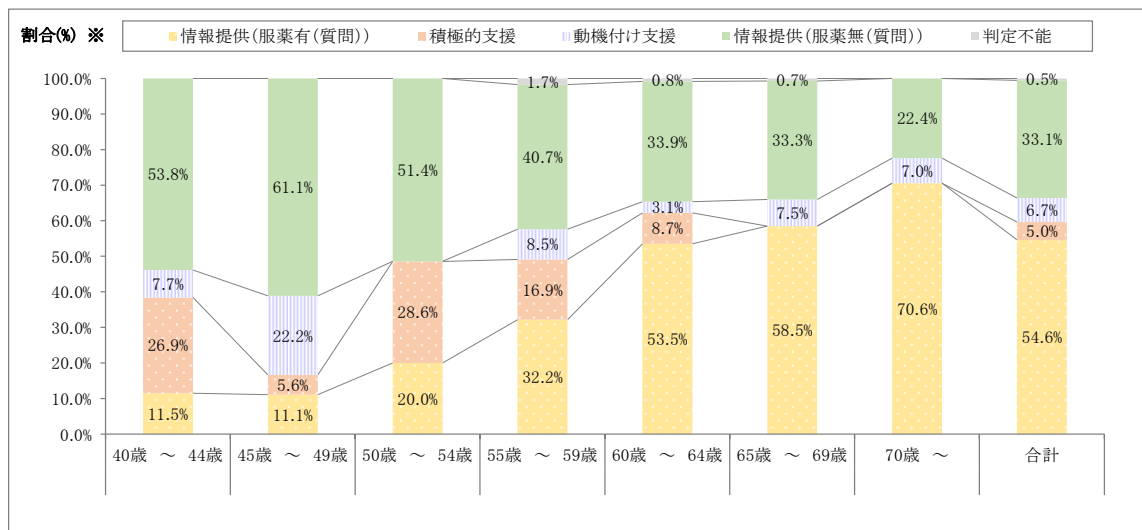
年齢階層	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳～44歳	26	3	11.5%	14	53.8%	0	0.0%
45歳～49歳	18	2	11.1%	11	61.1%	0	0.0%
50歳～54歳	35	7	20.0%	18	51.4%	0	0.0%
55歳～59歳	59	19	32.2%	24	40.7%	1	1.7%
60歳～64歳	127	68	53.5%	43	33.9%	1	0.8%
65歳～69歳	294	172	58.5%	98	33.3%	2	0.7%
70歳～	214	151	70.6%	48	22.4%	0	0.0%
合計	773	422	54.6%	256	33.1%	4	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年齢階層別 保健指導レベル該当割合（平成28年度）



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

平成26年度から平成28年度における、保健指導レベル該当状況を年度別に示す。

平成28年度積極的支援39人は平成26年度37人より増加しており、平成28年度動機付け支援52人は平成26年度62人より減少している。

年度別 保健指導レベル該当状況

年度	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		積極的支援		動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
平成26年度	771	99	37	4.8%	62	8.0%
平成27年度	773	93	37	4.8%	56	7.2%
平成28年度	773	91	39	5.0%	52	6.7%

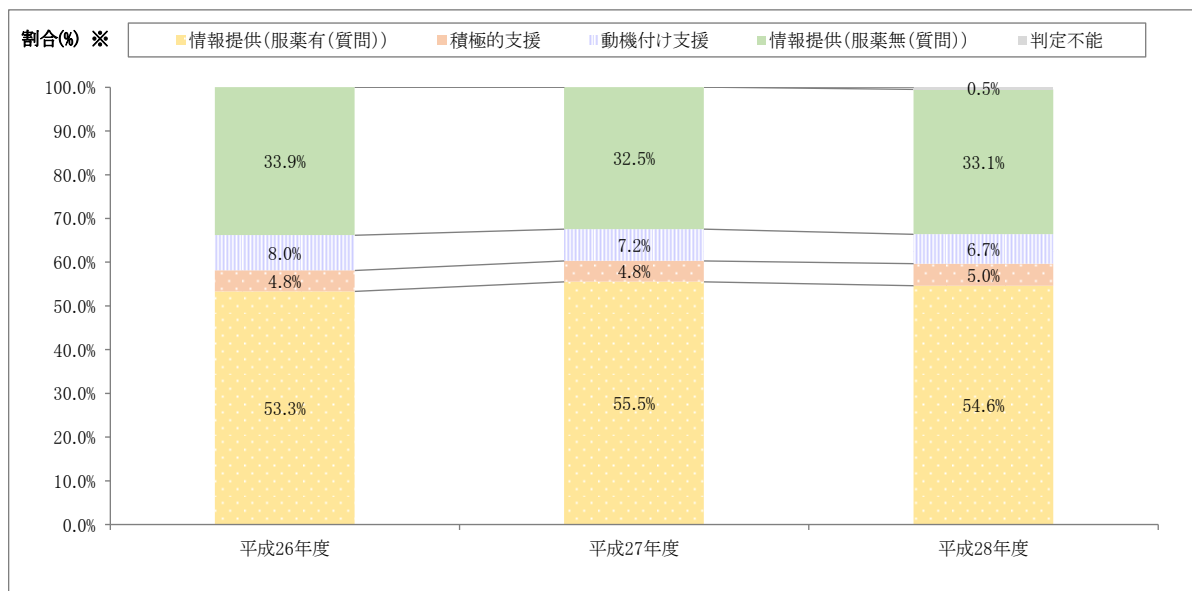
年度	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	771	411	53.3%	261	33.9%	0	0.0%
平成27年度	773	429	55.5%	251	32.5%	0	0.0%
平成28年度	773	422	54.6%	256	33.1%	4	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

4. 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下の通りである。

◆特定保健指導実施率

平成28年度特定保健指導実施率2.2%は、市区町村国保の平成29年度到達目標値60%に未到達である。

実施率向上を目指し、利用勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※KDBより算出

◆メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当状況

メタボリックシンドローム基準該当割合は19.5%、予備群該当割合は8.8%である。

また、積極的支援対象者割合は5.0%、動機付け支援対象者割合は6.7%である。

メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当者数を減少させるため、年齢が比較的若い対象者に対して優先的に指導する等、効果的・効率的な特定保健指導を実施する必要がある。

※健康診査データより算出

第5章 特定健康診査等実施計画

1. 目標

国では、市区町村国保において、計画期間の最終年度である平成35年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上を達成することとしている。本町においては各年度の目標値を以下の通り設定する。

目標値

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成35年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	49.0%	51.0%	53.0%	55.0%	57.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導実施率(%)	21.0%	28.0%	36.0%	44.0%	51.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導対象者の 減少率(%)※						25.0%	25.0%以上

※平成20年度比

2. 対象者数推計

(1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示す。

特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査対象者数 (人)	1,545	1,486	1,427	1,379	1,322	1,237
特定健康診査受診率(%) (目標値)	49.0%	51.0%	53.0%	55.0%	57.0%	60.0%
特定健康診査受診者数 (人)	757	757	756	758	753	742

年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	700	641	620	584	563	549
	65歳～74歳	845	845	807	795	759	688
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	245	243	254	262	270	274
	65歳～74歳	512	514	502	496	483	468

(2) 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の見込みを示す。

特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定保健指導対象者数(人)	95	97	100	103	106	109
特定保健指導実施率(% (目標値))	21.0%	28.0%	36.0%	44.0%	51.0%	60.0%
特定保健指導実施者数(人)	20	27	36	45	54	65

支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

			平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
積極的 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	42	42	45	47	50	54
	実施者数(人)	40歳～64歳	10	13	17	21	25	32
動機付け 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	17	18	19	20	21	21
		65歳～74歳	36	37	36	36	35	34
	実施者数(人)	40歳～64歳	4	5	7	9	11	13
		65歳～74歳	6	9	12	15	18	20

3. 実施方法

(1) 特定健康診査の実施方法

ア. 実施場所

① 集団健診

- ・ 八峰町文化交流センター
- ・ 八峰町峰浜地区文化交流センター
- ・ 岩館地区農林漁業体験交流施設（漁火の館）
- ・ 八森地区多目的集会所

② 個別健診

- ・ 能代厚生医療センター
- ・ 地域医療機能推進機構（JCHO）秋田病院
- ・ 能代市山本郡医師会加盟医療機関
- ・ 秋田県総合保健センター（人間ドックにおいて行う特定健康診査）

イ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施する。

健診項目

■ 基本的な健診項目（全員に実施）
○質問票（服薬歴、喫煙歴等） ○身体計測（身長、体重、BMI、腹囲）
○血圧測定 ○理学的検査（身体診察） ○尿検査（尿糖、尿蛋白）
○血液検査
・ 脂質検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール）
・ 血糖検査（空腹時血糖またはHbA1c、やむを得ない場合は随時血糖）
・ 肝機能検査（AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GT（ γ -GTP））
■ 詳細な健診項目（医師が必要と判断した場合に実施）
○心電図 ○眼底検査 ○貧血検査（赤血球、血色素量、ヘマトクリット値）
○血清クレアチニン検査（eGFRによる腎機能の評価を含む）

ウ. 実施時期

① 集団健診

6月から7月に実施する。

② 個別健診

4月から3月に実施する。

エ. 外部委託の方法

外部委託に関する基準に基づき、個別契約により能代厚生医療センター、地域医療機能推進機構（JCHO）秋田病院、秋田県総合保健事業団へ委託し、集合契約により能代市山本郡医師会へ委託して実施する。

オ. 周知や案内の方法

①周知の方法

広報紙やホームページ等で周知を図る。

②受診案内の方法

対象者全員へ集団健診への意向調査を行い、回答を回収する。その際、町で作成した案内チラシと受診機関リストを同封する。

③受診券等の配布方法

受診券は、対象者全員に配布する。

カ. その他

①健診結果の返却方法

健診結果を分かりやすく知らせるため、結果通知書に、基準範囲外の値を示している項目やその値の程度、検査項目は示す意義等について記載されているパンフレットを同封する。

また、生活習慣改善につながるアドバイスや情報を添えるなど、情報提供にも努める。

(2) 特定保健指導の実施方法

ア. 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、

内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。

ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施する。

特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク		喫煙歴(注)	対象	
	①血糖	②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当		/	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当		あり なし		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当		/	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当		あり なし		
	1つ該当		/		

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

イ. 実施場所

- ・ 能代厚生医療センター
- ・ 地域医療機能推進機構 (JCHO) 秋田病院
- ・ 秋田県総合保健センター

ウ. 実施項目

保健指導レベルに応じた内容の保健指導を実施する。

保健指導の内容

	支援形態	支援内容
積極的支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、または1グループ当たりおおむね80分以上のグループ支援。 b. 3カ月以上の継続支援 個別支援、グループ支援の他、電話、e-mail等の通信手段を組み合わせで行う。 c. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行う。	特定健康診査の結果から、対象者自らが自分の身体に起こっている変化を理解し、生活習慣改善の必要性を実感できるような働きかけを行う。また、具体的に実践可能な行動目標を対象者が選択できるように支援する。 支援者は目標達成のために必要な支援計画を立て、行動が継続できるように定期的・継続的に介入する。
動機付け支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、または1グループ当たりおおむね80分以上のグループ支援。 b. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行う。	対象者自らが、自分の生活習慣の改善すべき点を自覚することで行動目標を設定し、目標達成に向けた取り組みが継続できるように動機付け支援を行う。

エ. 実施時期

4月から3月に実施する。

オ. 外部委託の方法

外部委託に関する基準に基づき、個別契約により能代厚生医療センター、地域医療機能推進機構（JCHO）秋田病院、秋田県総合保健事業団へ委託して実施する。

カ. 周知や案内の方法

①周知の方法

広報紙やホームページ等で周知を図る。

②利用案内の方法

対象者に利用案内通知書等を送付する。

(3) 利用する代行機関

特定健康診査等の費用決裁、共同処理、マスタ管理に関する業務について、秋田県国民健康保険団体連合会に委託する。

(4) 年間スケジュール

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特定健康診査	委託契約締結	←→											
	対象者抽出	←→											
	受診券送付		←→										
	特定健診実施 (集団)			←→									
	特定健診実施 (個別)	←→											→
	特定健診実施 (人間ドック)	←→											
特定保健指導	委託契約締結	←→											
	対象者抽出 利用案内	←→											→
	保健指導実施	←→											→
前年度の評価									←→				
次年度の計画										←→			→

1. 個人情報の保護

(1) 記録の保存方法等

特定健康診査に関するデータは、秋田県国民健康保険団体連合会へ管理・保存を委託する。その保存期間は、7年とする。

(2) 管理ルールの制定

特定健康診査及び特定保健指導で得られる健康情報等の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律及びこれに基づくガイドライン、八峰町個人情報保護条例（平成18年3月27日条例第15号）などを踏まえた対応を行う。

また、業務を外部に委託する際も同様に扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

(1) 特定健康診査等実施計画の公表方法

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とあるため、広報、ホームページ等で公表し、広く周知を図る。

(2) 特定健康診査等を実施する趣旨の普及啓発の方法

特定健康診査等を実施する趣旨について、広報紙、ホームページ、パンフレットやポスター等により普及啓発を図る。

3. 特定健康診査等実施計画の評価・見直し

(1) 特定健康診査等実施計画の評価方法

特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率については、国への実績報告により毎年度評価を行う。

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率等については、国への実績報告により最終年度に評価を行う。

(2) 特定健康診査等実施計画の見直しに関する考え方

計画の最終年度となる平成35年度に、目標の達成状況等に関する最終評価を行い、計画の見直しを行う。

4. その他

(1) 各種検(健)診等との連携

特定健康診査の実施に当たっては、健康増進法及び介護保険法に基づき実施する検(健)診等についても可能な限り連携して実施するものとする。

(2) 健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導の対象となる年代だけでなく、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。

年度別 特定健康診査結果分析

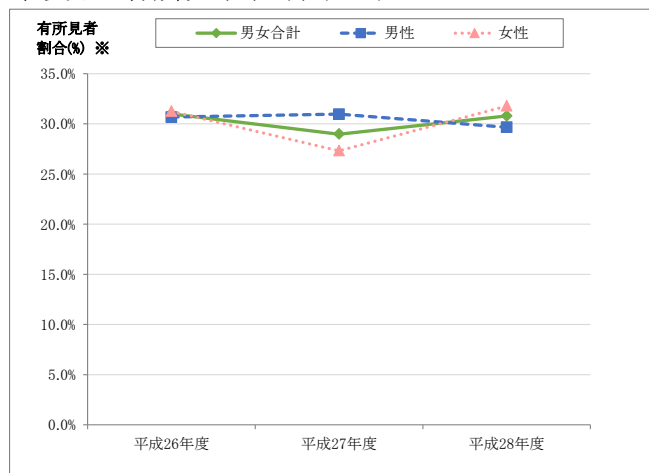
1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	239	224	238
	有所見者割合(%) ※	31.0%	29.0%	30.8%
男性	対象者数(人) ※	339	352	364
	有所見者数(人) ※	104	109	108
	有所見者割合(%) ※	30.7%	31.0%	29.7%
女性	対象者数(人) ※	432	421	409
	有所見者数(人) ※	135	115	130
	有所見者割合(%) ※	31.3%	27.3%	31.8%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

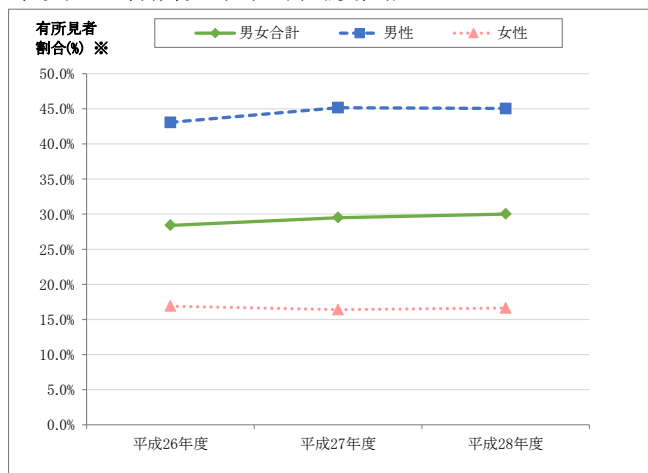
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	219	228	232
	有所見者割合(%) ※	28.4%	29.5%	30.0%
男性	対象者数(人) ※	339	352	364
	有所見者数(人) ※	146	159	164
	有所見者割合(%) ※	43.1%	45.2%	45.1%
女性	対象者数(人) ※	432	421	409
	有所見者数(人) ※	73	69	68
	有所見者割合(%) ※	16.9%	16.4%	16.6%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

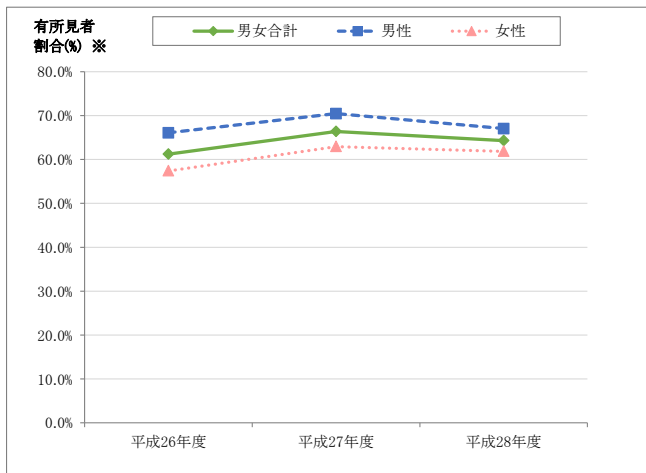
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、 女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	472	513	497
	有所見者割合(%) ※	61.2%	66.4%	64.3%
男性	対象者数(人) ※	339	352	364
	有所見者数(人) ※	224	248	244
	有所見者割合(%) ※	66.1%	70.5%	67.0%
女性	対象者数(人) ※	432	421	409
	有所見者数(人) ※	248	265	253
	有所見者割合(%) ※	57.4%	62.9%	61.9%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

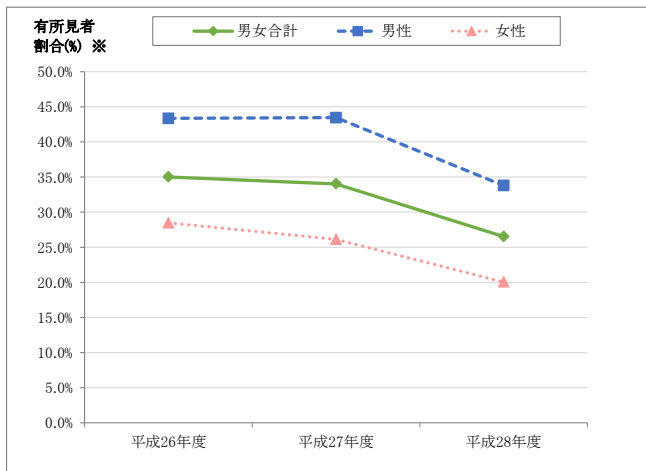
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	270	263	205
	有所見者割合(%) ※	35.0%	34.0%	26.5%
男性	対象者数(人) ※	339	352	364
	有所見者数(人) ※	147	153	123
	有所見者割合(%) ※	43.4%	43.5%	33.8%
女性	対象者数(人) ※	432	421	409
	有所見者数(人) ※	123	110	82
	有所見者割合(%) ※	28.5%	26.1%	20.0%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

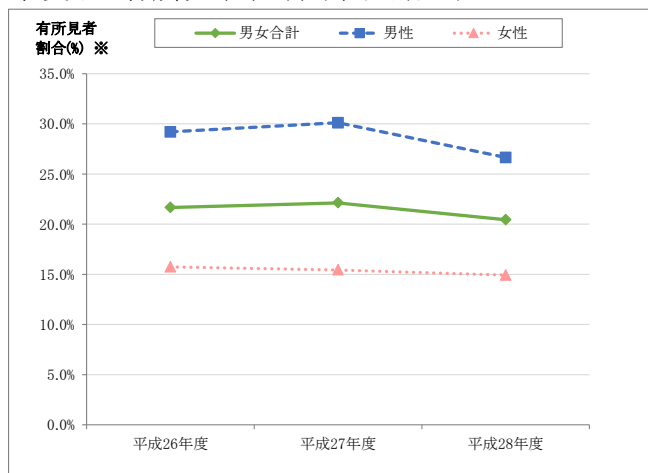
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	167	171	158
	有所見者割合(%) ※	21.7%	22.1%	20.4%
男性	対象者数(人) ※	339	352	364
	有所見者数(人) ※	99	106	97
	有所見者割合(%) ※	29.2%	30.1%	26.6%
女性	対象者数(人) ※	432	421	409
	有所見者数(人) ※	68	65	61
	有所見者割合(%) ※	15.7%	15.4%	14.9%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

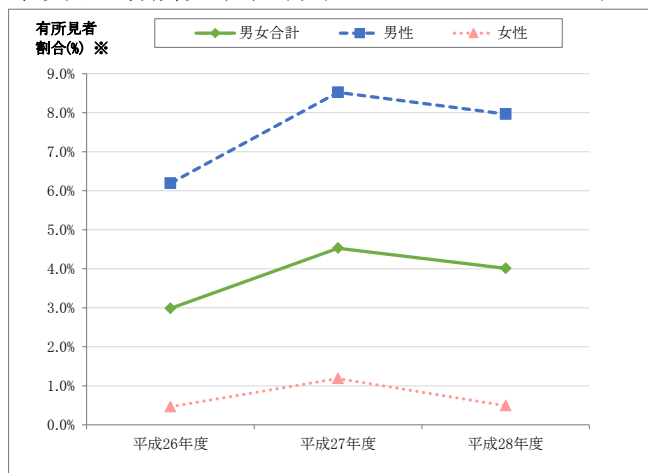
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪: 150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	23	35	31
	有所見者割合(%) ※	3.0%	4.5%	4.0%
男性	対象者数(人) ※	339	352	364
	有所見者数(人) ※	21	30	29
	有所見者割合(%) ※	6.2%	8.5%	8.0%
女性	対象者数(人) ※	432	421	409
	有所見者数(人) ※	2	5	2
	有所見者割合(%) ※	0.5%	1.2%	0.5%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

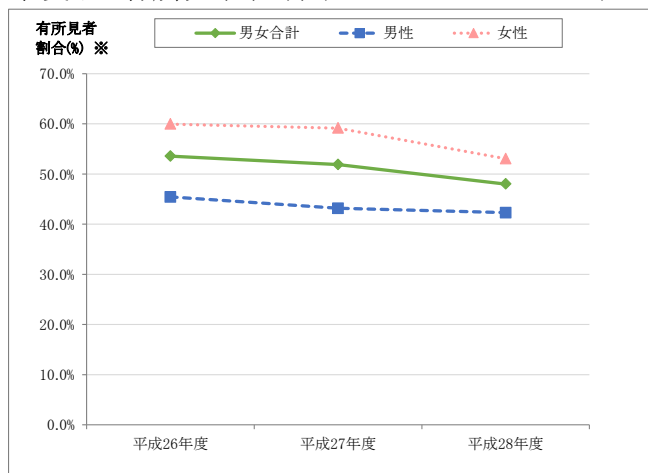
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	771	773	773
	有所見者数(人) ※	413	401	371
	有所見者割合(%) ※	53.6%	51.9%	48.0%
男性	対象者数(人) ※	339	352	364
	有所見者数(人) ※	154	152	154
	有所見者割合(%) ※	45.4%	43.2%	42.3%
女性	対象者数(人) ※	432	421	409
	有所見者数(人) ※	259	249	217
	有所見者割合(%) ※	60.0%	59.1%	53.1%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

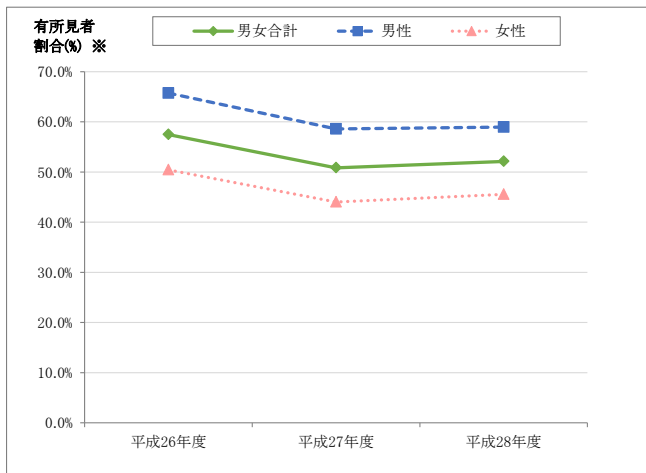
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	628	645	639
	有所見者数(人) ※	361	328	333
	有所見者割合(%) ※	57.5%	50.9%	52.1%
男性	対象者数(人) ※	289	302	312
	有所見者数(人) ※	190	177	184
	有所見者割合(%) ※	65.7%	58.6%	59.0%
女性	対象者数(人) ※	339	343	327
	有所見者数(人) ※	171	151	149
	有所見者割合(%) ※	50.4%	44.0%	45.6%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

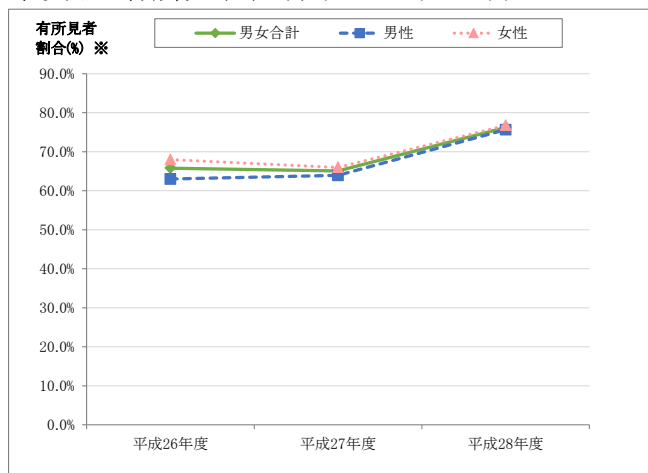
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	725	724	724
	有所見者数(人) ※	477	471	552
	有所見者割合(%) ※	65.8%	65.1%	76.2%
男性	対象者数(人) ※	319	330	341
	有所見者数(人) ※	201	211	258
	有所見者割合(%) ※	63.0%	63.9%	75.7%
女性	対象者数(人) ※	406	394	383
	有所見者数(人) ※	276	260	294
	有所見者割合(%) ※	68.0%	66.0%	76.8%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

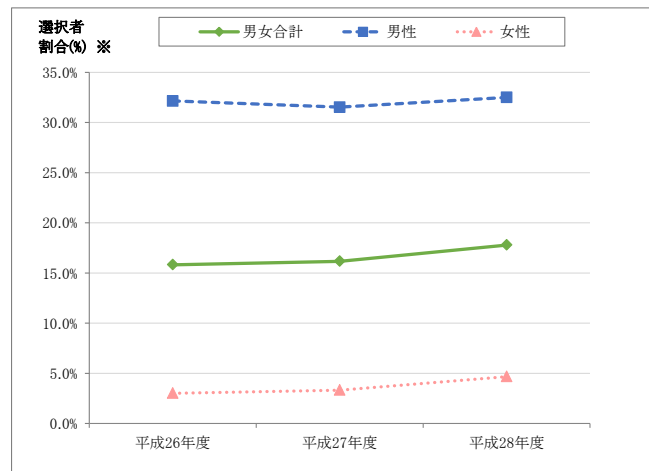
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	771	773	770
	選択者数(人) ※	122	125	137
	選択者割合(%) ※	15.8%	16.2%	17.8%
男性	質問回答者数(人) ※	339	352	363
	選択者数(人) ※	109	111	118
	選択者割合(%) ※	32.2%	31.5%	32.5%
女性	質問回答者数(人) ※	432	421	407
	選択者数(人) ※	13	14	19
	選択者割合(%) ※	3.0%	3.3%	4.7%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

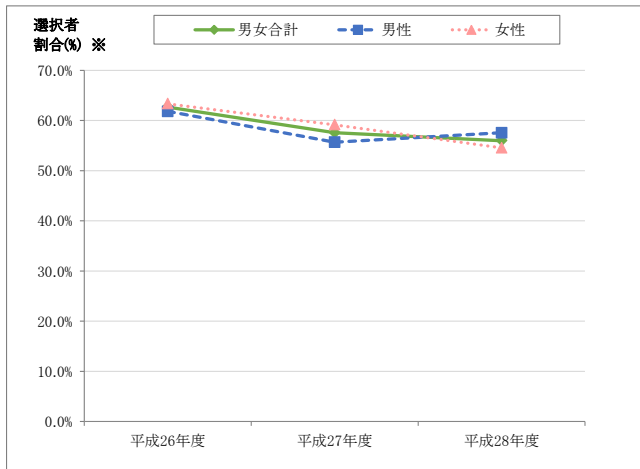
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	769	773	770
	選択者数(人) ※	482	445	431
	選択者割合(%) ※	62.7%	57.6%	56.0%
男性	質問回答者数(人) ※	338	352	363
	選択者数(人) ※	209	196	209
	選択者割合(%) ※	61.8%	55.7%	57.6%
女性	質問回答者数(人) ※	431	421	407
	選択者数(人) ※	273	249	222
	選択者割合(%) ※	63.3%	59.1%	54.5%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

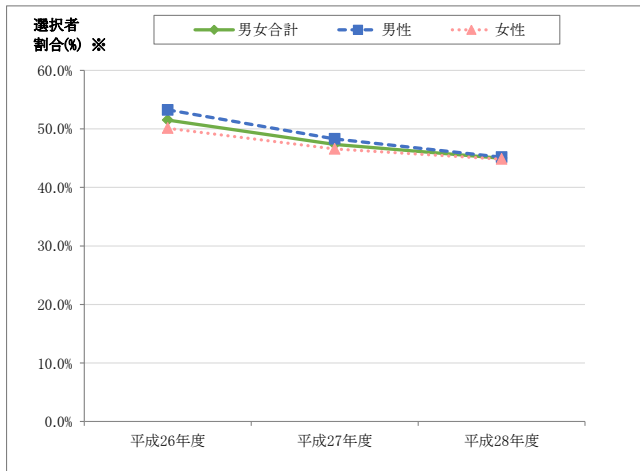
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	769	773	769
	選択者数(人) ※	396	366	346
	選択者割合(%) ※	51.5%	47.3%	45.0%
男性	質問回答者数(人) ※	338	352	363
	選択者数(人) ※	180	170	164
	選択者割合(%) ※	53.3%	48.3%	45.2%
女性	質問回答者数(人) ※	431	421	406
	選択者数(人) ※	216	196	182
	選択者割合(%) ※	50.1%	46.6%	44.8%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

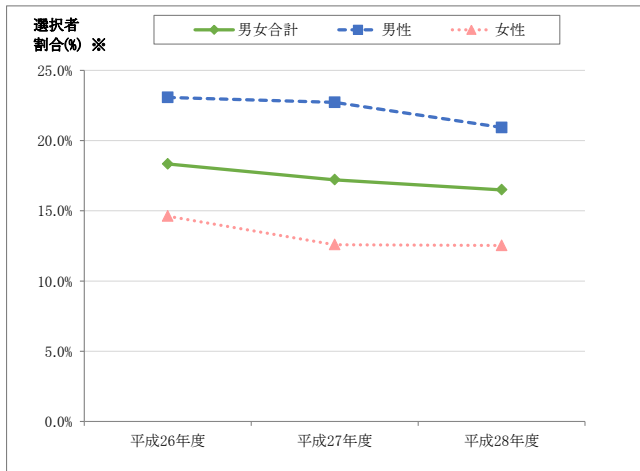
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	769	773	770
	選択者数(人) ※	141	133	127
	選択者割合(%) ※	18.3%	17.2%	16.5%
男性	質問回答者数(人) ※	338	352	363
	選択者数(人) ※	78	80	76
	選択者割合(%) ※	23.1%	22.7%	20.9%
女性	質問回答者数(人) ※	431	421	407
	選択者数(人) ※	63	53	51
	選択者割合(%) ※	14.6%	12.6%	12.5%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

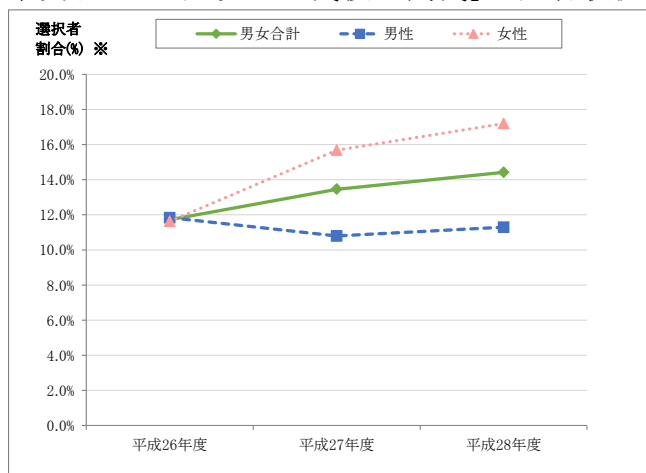
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	768	773	770
	選択者数(人) ※	90	104	111
	選択者割合(%) ※	11.7%	13.5%	14.4%
男性	質問回答者数(人) ※	338	352	363
	選択者数(人) ※	40	38	41
	選択者割合(%) ※	11.8%	10.8%	11.3%
女性	質問回答者数(人) ※	430	421	407
	選択者数(人) ※	50	66	70
	選択者割合(%) ※	11.6%	15.7%	17.2%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

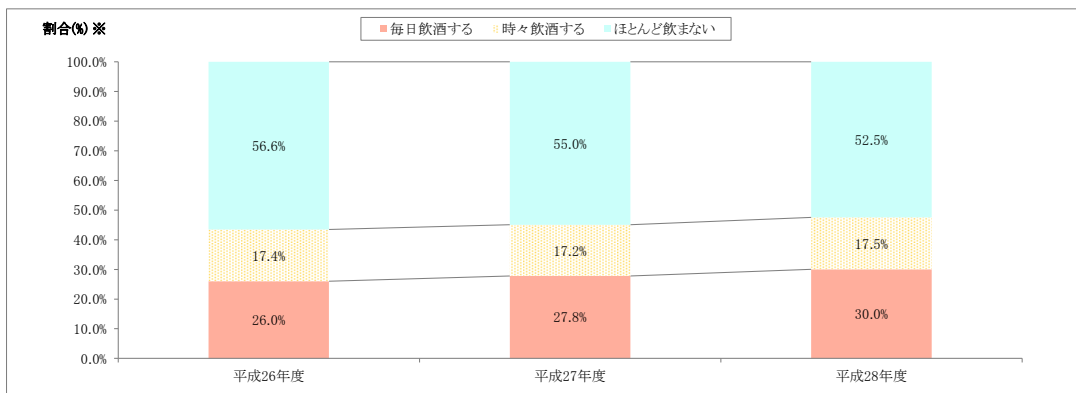
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④ 飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	769	200	26.0%	134	17.4%	435	56.6%
平成27年度	773	215	27.8%	133	17.2%	425	55.0%
平成28年度	770	231	30.0%	135	17.5%	404	52.5%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

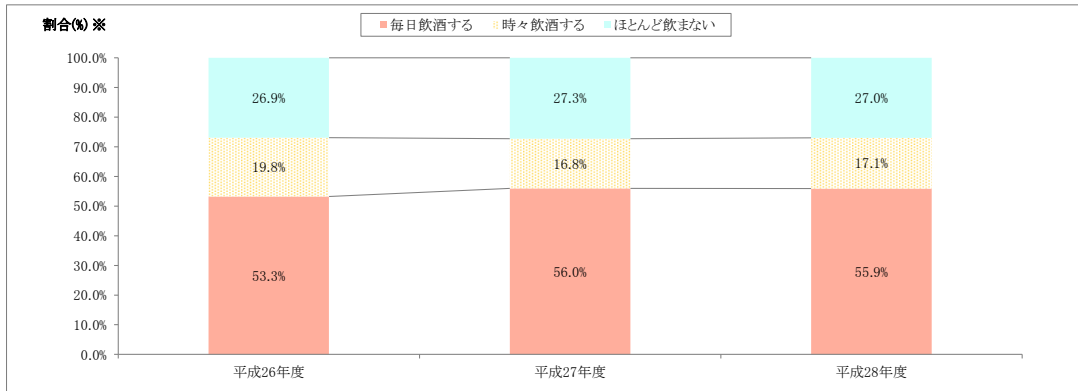
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	338	180	53.3%	67	19.8%	91	26.9%
平成27年度	352	197	56.0%	59	16.8%	96	27.3%
平成28年度	363	203	55.9%	62	17.1%	98	27.0%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

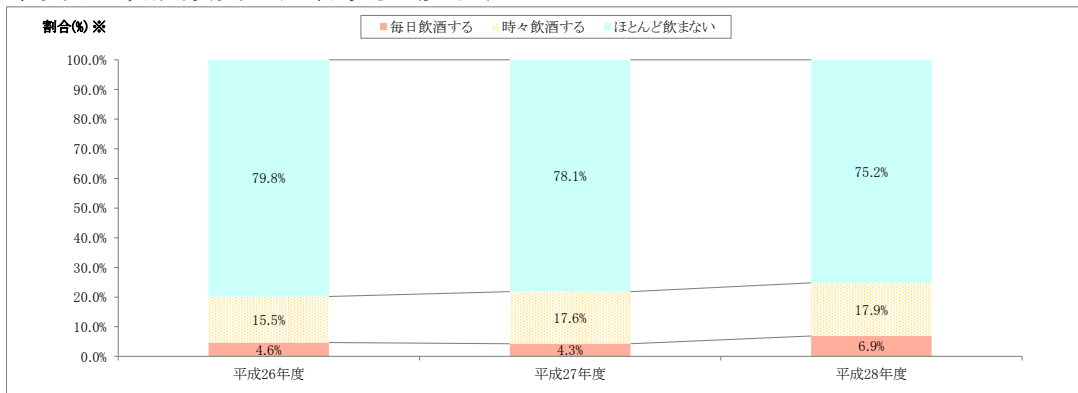
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	431	20	4.6%	67	15.5%	344	79.8%
平成27年度	421	18	4.3%	74	17.6%	329	78.1%
平成28年度	407	28	6.9%	73	17.9%	306	75.2%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

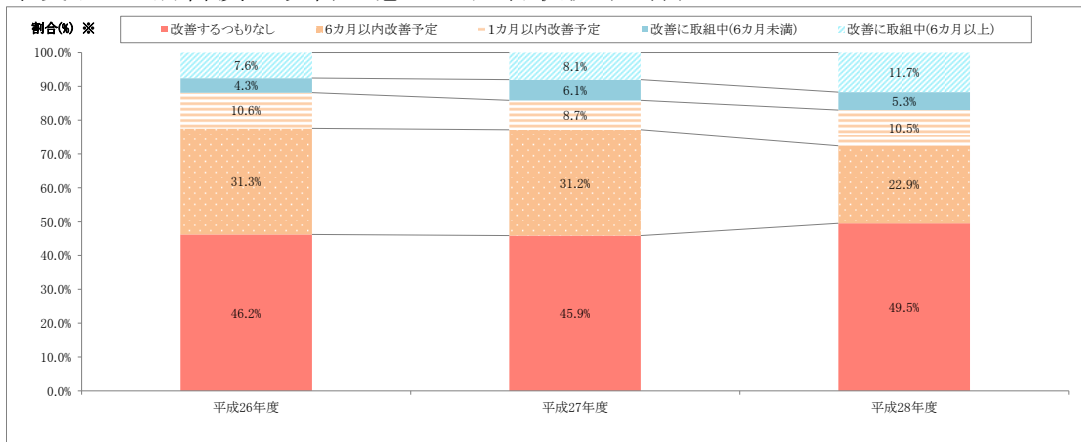
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	766	354	46.2%	240	31.3%	81	10.6%
平成27年度	769	353	45.9%	240	31.2%	67	8.7%
平成28年度	769	381	49.5%	176	22.9%	81	10.5%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	766	33	4.3%	58	7.6%
平成27年度	769	47	6.1%	62	8.1%
平成28年度	769	41	5.3%	90	11.7%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

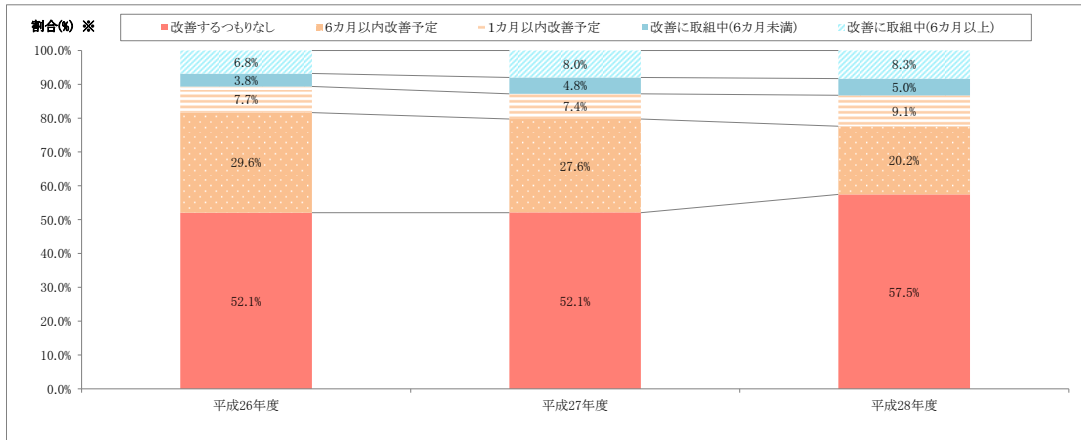
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	338	176	52.1%	100	29.6%	26	7.7%
平成27年度	351	183	52.1%	97	27.6%	26	7.4%
平成28年度	362	208	57.5%	73	20.2%	33	9.1%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	338	13	3.8%	23	6.8%
平成27年度	351	17	4.8%	28	8.0%
平成28年度	362	18	5.0%	30	8.3%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

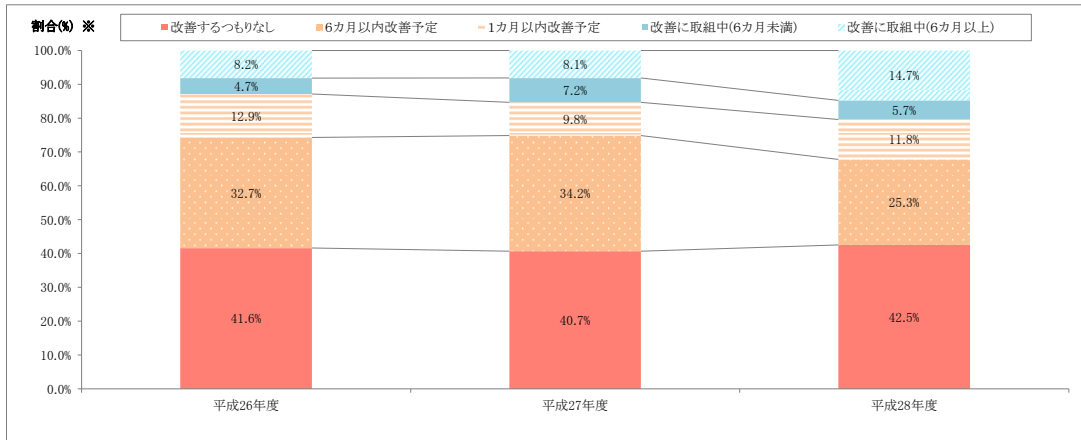
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	428	178	41.6%	140	32.7%	55	12.9%
平成27年度	418	170	40.7%	143	34.2%	41	9.8%
平成28年度	407	173	42.5%	103	25.3%	48	11.8%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	428	20	4.7%	35	8.2%
平成27年度	418	30	7.2%	34	8.1%
平成28年度	407	23	5.7%	60	14.7%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3ヶ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。いわゆる特定健診。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

第3期
八峰町国民健康保険
特定健康診査等実施計画

発行・編集
八峰町 福祉保健課 保険年金係

〒018-2502

秋田県山本郡八峰町峰浜目名瀉字目長田118番地

電話：0185-76-4608 FAX:0185-76-2113